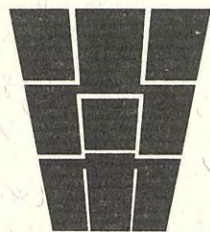


たなゆ 1974

市制20周年記念

愛知県常滑市



市 章

(昭和30年6月制定)

常滑市の「常」の字を、
杉本健吉氏が図案化したも
ので、市民の団結と市勢の
発展が表わされている。

表 紙

常滑市の伝統産業陶管の素
朴な焼肌を写したもの。

市内あちこちに幾何学的に
積まれた陶管の山は訪れた人
の目を楽しませる。

目 次

市制20周年を迎えて	1
20年のできごと	2
躍進する常滑市	
伸びゆく常滑	4
市の生いたち	5
位 置	6
人 口	7
市民福祉のために	
行 政	8
市役所の組織	9
市 議 会	10
財 政	12
モーターボート	13
市民病院	14
陶芸研究所	15
上 水 道	17
産 業	
工 業	18
商 業	22
農 業	24
水 産 業	26
新しい都市づくり	
土 木 建 築	28
ゆたかな環境	
公 園	31
すこやかに育て	
教 育 文 化	32
市民体育会館	34
市立図書館	35
学 校 プ ール	36
学校給食共同調理場	37
明るくゆたかに	
保育園・社会福祉	38
公 営 住 宅	40
養護老人ホーム	41
マザーズホーム	41
よりくらしよく	
衛 生	42
安全なくらし	
交 通 安 全	44
防 火 と 救 急	46
市民の安全を守る	47
市民のくらし	48
観 光	50
市の文化財	52
官公庁・市内案内図	54
常滑音頭・常滑小唄	56

市制20周年を迎えて

常滑市長 久 田 慶 三

1974年……本年は常滑市が市制施行して20周年を迎えました。思えばきびしい財政事情のもと伊勢湾台風による被災など、かすかすの困難を克服し、試練を乗り越えて、調和のとれた地域の振興、健康で明朗な市民生活の向上を指標に、最大の努力を傾注してまいりました。学校施設の整備充実、保育園の建設やめぐまれない方々への福祉拡充、医療や健康増進のための施設整備、道路河川、土地改良等の建設事業あるいは地元産業の振興等、躍進する常滑市として年々発展を遂げてまいりました。

かえりみて感慨あらたなるものがあり、皆さま方のご尽力、ご協力に対し、改めて厚くお礼申し上げるものであります。

さらに、市民福祉の諸事業を始めとし、基盤総合整備パイロット事業、駅前の整備事業、都市計画街路の推進、町名地番の変更等々具体化された計画を始めとし、各分野にわたって一層の充実をはかる運びとなり、希望に満ちた明るい20周年を迎えました。

しかしながら、戦後長い間、繁栄と成長の美酒に酔ってきたわが国は、最近のきびしい国際情勢から政治、経済の各方面に大きな変革を余儀なくされ、地方行政の分野にもかつてない幾多の困難をもたらしております。

都市づくりへの道は遠く、前途には多くの問題が山積しておりますが、5万6千市民と一体となり、皆様のご理解とご協力を得て着実に成し遂げ、力強く前進してゆきたいと考えております。



20年のできごと

29年

4月1日、4町1村の合併市制施行
初代市長に伊奈長三郎氏就任
市の人口42,979人、面積41.67km²

30年

2代市長に滝田次郎氏就任
初の市議会議員選挙
し尿取扱いを開始
巡回橋“北条大橋”開通

31年

市消防団統合
都市計画街路16路線決定

32年

小鈴谷町合併（大谷、小鈴谷、広目、坂井）
鬼崎漁港竣工
市財政自主再建計画を決定

33年

都市計画用途地域の指定をうける



30年 巡回橋“北条大橋”開通



34年 未曾有の伊勢湾台風で大きな被災

市民病院の建設に着手
三和、大野統合青海中学校を設立

34年

3代市長に久田慶三氏就任
伊勢湾台風で大被災

35年

市立陶芸研究所の建設はじまる
愛知用水上水道事業で簡易水道統合
西浦北小鉄筋校舎完成

36年

集中豪雨で被災（災害救助法発令）
農事有線放送事業開局

37年

常滑小危険校舎の改築はじまる
ごみ処理場、し尿処理両衛生組合発足
保示、樽水埋立工事完成

38年

南陵中学校設置（西浦、小鈴谷両中学校統合）
ごみ処理場、し尿処理場完成

39年

市制10周年を祝賀
消防署庁舎の建設はじまる
都市計画街路環状1号線完工

40年

交通安全“子どもを守る会”誕生
常滑に初めて交通信号機点灯
市民体育会館着工

41年

120名以上の赤痢患者発生
常滑市商工会が発足
小中学校に屋内運動場建設着手
市民体育会館完成
市消防団7分団編成に（精鋭分団制発足）
市立図書館不審火

48年 常滑警察署発足



47年 常滑焼にビエンナーレ名誉最高大賞（フランス）



46年 大曽公園着々整備





34年 市民病院完成



36年 市立陶芸研究所開所



36年 集中豪雨で大被害

42年

市内に歩道橋を6カ所建設
市庁舎建設の位置きまる
西浦北保育園を移転新築

43年

交通安全センター完成
第1回市指定文化財きまる
県立常滑窯業技術センター完成
市内初の学校プール起工

44年

市庁舎完成
常滑焼が万国博覧会へ
北学校給食センター完成
市立図書館の建設きまる

45年

市陶磁器会館が完成
市民病院増改築工事完成
市街化、市街化調整の区域きまる
満80才以上の医療は無料に

44年 市庁舎完成



46年

市立養護老人ホーム完成
常滑球場にナイター設備ができる
市野外教育センターが北設楽町にオープン
大気汚染自動測定機が設置される
大曽公園建設事業着手
相つぐ近代校舎への改築

47年

心身障害者手当支給制度実施
陶業、陶芸振興に「長三賞」設定
常滑市誌編さんに着手
常滑焼に名誉最高大賞（フランス）
名誉市民に伊奈長三郎氏
基盤総合整備パイロット事業着手

48年

常滑市商工会館完成（商工会議所発足）
常滑警察署発足
町界町名地番整理の実施に着手
ゼロ才児医療費助成制度開始
常滑高等学校普通科分離独立が決定

43年 交通安全センター完成



37年 保示櫛水埋立地完成



39年 全市をあげて市制10周年を祝う

41年 市民体育会館完成
体操世界一の中山選手がつり輪を披露



躍進する常滑市

伸びゆく常滑

市制施行後は、新市として都市的形態を整えるため社会基盤整備のための行政需要がいちじるしく増大し、加えて財政自主再建の適用、伊勢湾台風をはじめ相つぐ大災害など悪条件が重なり、行政的にも財政的にもきびしい受難の時期がつづいた。

しかし間もなく競艇事業が好転し、また、災害の復旧事業もきわめて順調に進捗したので、その後は学校、保育園、公民活動施設、道路橋梁、環境衛生、産業の近代化など生産と生活環境の整備に飛躍を遂げることができた。ことに、市民体育会館、市庁舎、図書館、陶磁器会館、商工会館と近代的各センターの完成が相つぎ、大曽大公園建設も全容を表わし、さらに駅前広場整備、基盤総合整備の2大事業をはじめ、地域の開発、住民福祉の安全と向上のためのいくつかのプロジェクトが具体化され、進捗している。

中部圏の要である中京広域圏の一核として、また、豊かな開発可能性を有する伊勢湾に臨む新興都市として、市制施行20周年を迎えた常滑市の担う役割りはまことに大きくその前途は洋々たるものがある。



市の生いたち

本市は昭和29年4月1日、常滑町、鬼崎町、西浦町、大野町および三和村の4町1村が合併して誕生した。

その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷、小鈴谷、広目および坂井の4地区が昭和32年3月31日に市域に加わり、現在の常滑市となり、市制20周年を迎えた。

以前の歴史をさぐると、往古、漁労の民が海岸沿いにあるいは海を渡って当地に住みついたと想像される

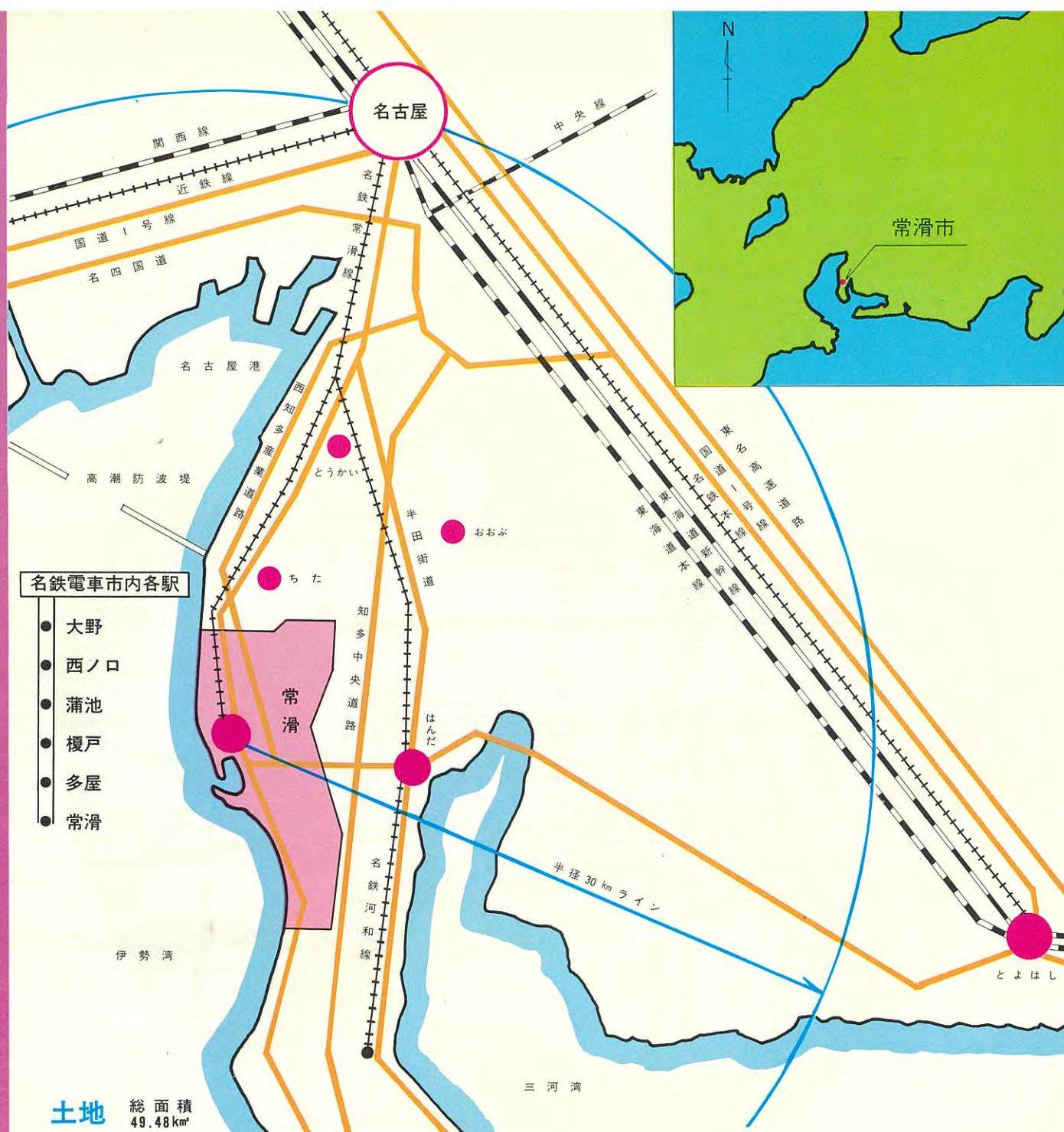
和名抄には知多郡贅代郷の地と記されており、永正4年（1507年）の宗長宇津山記には「伊勢の国多気より大湊に出て、尾張の国知多郡常滑という津に渡る」とある。

戦国時代を経て江戸時代には尾張藩の治下にあり、維新後は名古屋県、額田県、そして愛知県に属した。

本市の地名「常滑」については、万葉集にも用例があり、学説では「常」は床の義をとり、「滑」は滑（なめらか）の義にとるのが妥当であるとされている。古来当地は岩土盤の露出が多く、その性質はなめらかになっており、この岩土盤全体をも「とこなめ」と呼び習俗を生んだものとされている。

位置

本市は愛知県の知多半島、西海岸中央部にあって、東経136度50分、北緯34度54分に位置し、東西6.1km、南北15km、面積49.48km²、西は伊勢湾に面して平たん地が続き第4期沖積層であり、東は半島の背骨ともみえる第3期層の丘陵地帯で半田市、武豊町との境をなしている。海岸沿いに市街地を形成し、伊勢湾は漁業に、平たん地は商工業に、そして丘陵部は農畜産にとめぐまれた地理条件にある。中部圏の核心名古屋中心部へは電車で45分の距離にある。



土地 総面積 49.48km²

田 1,259Ha	畑 740Ha	宅地 586Ha	山林 1,015Ha	原野 108 Ha	池沼 150 Ha
					その他 1,090 Ha

男女比
男・1
女・1.06



1世帯当り
平均人数
4.1人



人口

昭和29年4町1村による市制施行時の人口は42,979人、その後32年に小鈴谷町を合併49,800人となった。過去5カ年の増加率を見ると自然増が1%、社会増が0.5%減となっており、緩やかな増加である。

人口の推移 (各年4月1日現在)

区分	年度	29年	30年	35年	40年	45年	48年
人口	男	19,999	20,135	23,182	25,140	26,049	26,847
	女	22,980	23,078	27,440	27,944	27,994	28,438
	計	42,979	43,213	50,622	53,084	54,043	55,285
世帯数		8,482	8,509	9,905	11,340	12,643	13,441

市民福祉のために

行政

市制施行20周年を迎えた本市は、知多西地方第一の都市としてこの地方における行政、経済、学術および文化の中心をなしている。

明るい市民サービスと言行一致の市政をモットーに、教育文化の振興、道路・港湾の整備拡充あるいは民生の安定また交通安全対策の推進等、住民の福祉向上のため充実した行政がなされている。



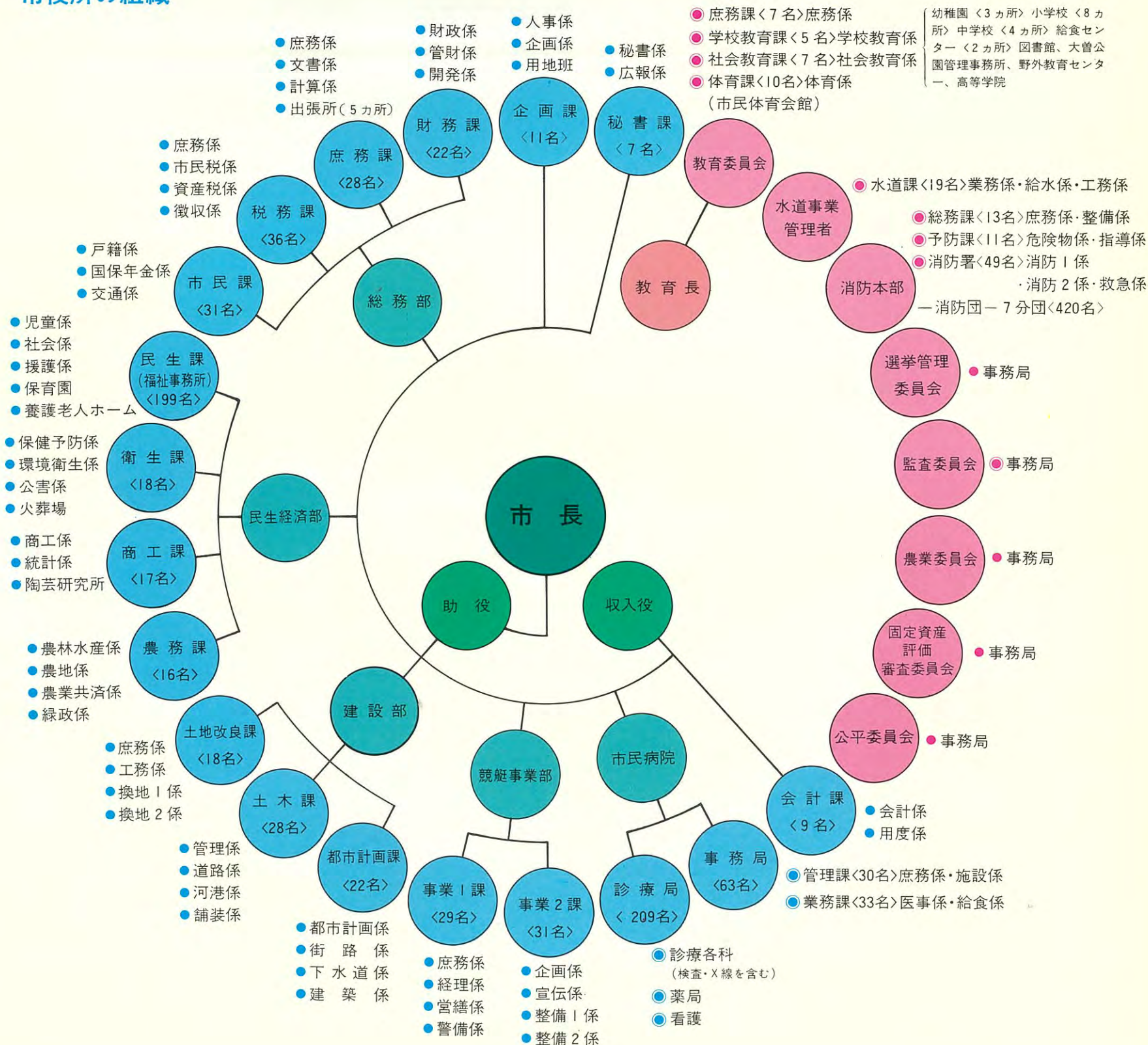
助役 服部正次 市長 久田慶三 収入役 平野昭三

歴	代	勤	役
氏	名	就任期間	
伊奈	四郎	29. 5. 19 - 32. 1. 21	
久田	慶三	30. 9. 23 - 34. 3. 5	
山田	滝一	34. 6. 10 - 38. 6. 28	
服部	正次	38. 10. 25 - 41. 10. 16	

歴	代	市	長
氏	名	就任期間	
伊奈	長三郎	29. 4. 25 - 30. 3. 5	
滝田	次郎	30. 3. 27 - 34. 3. 26	
久田	慶三	34. 3. 27 - 41. 10. 16	

歴	代	収	入	役
氏	名	就任期間		
山田	滝一	29. 5. 7 - 34. 5. 28		
平野	昭三	34. 6. 29 - 41. 10. 16		

市役所の組織



市議会

市議会は市民から選ばれた市議会議員30人で構成され、市の意志を決定する議決機関です。

議会は年4回の定例会と必要に応じて開かれる臨時会とがあります。議会の審査機関として総務、建設、経済保健、文教民生の4つの常任委員会が設けられている。

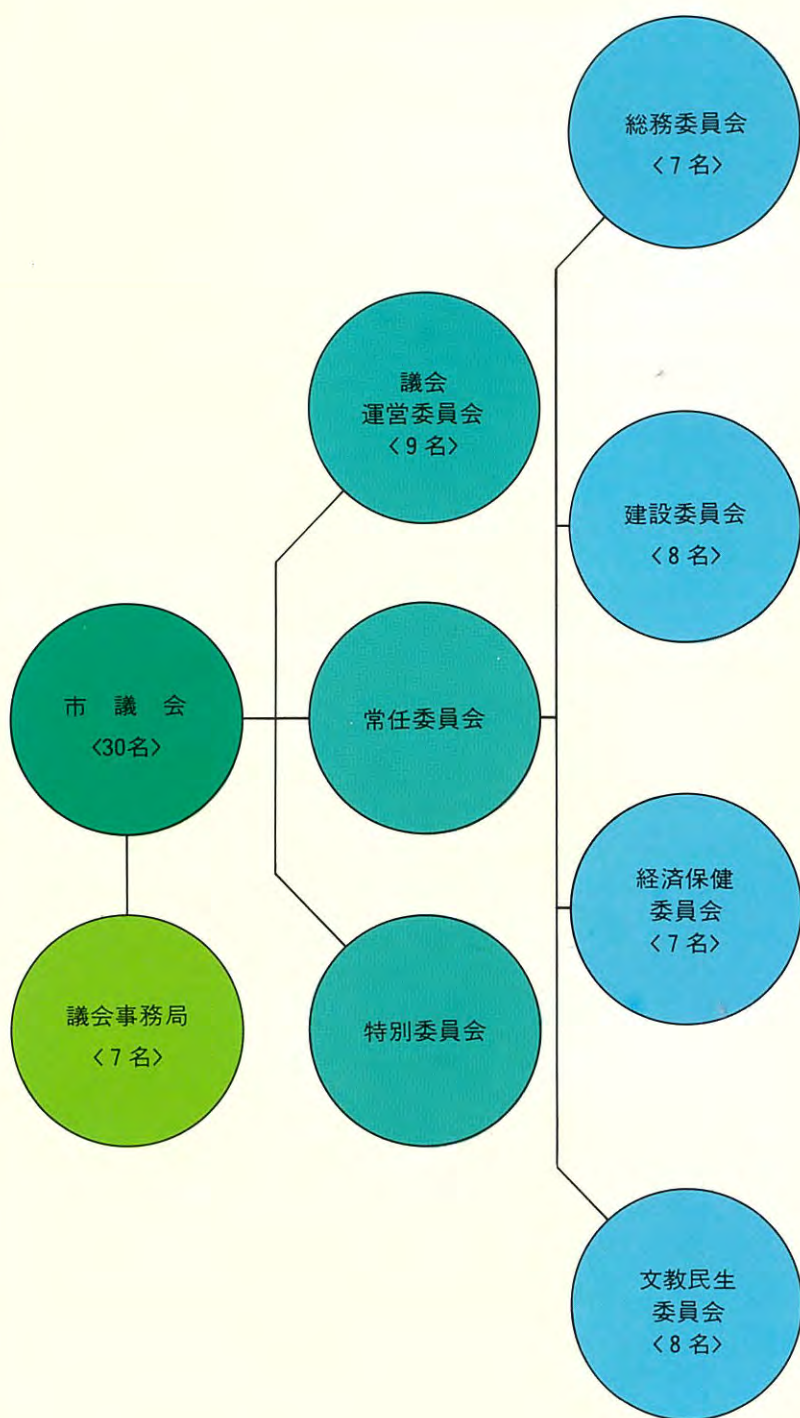


議長 沢田民四郎

副議長 伊藤好一

歴代議長		
八木虎雄	29. 4. 10~32. 4. 7	
杉江達太郎	32. 4. 8~33. 4. 3	
井上健一	33. 4. 4~34. 3. 31	
稲葉民治	34. 4. 2~36. 3. 31	
久田金蔵	36. 4. 1~38. 3. 31	
沢田良蔵	38. 5. 7~42. 4. 29	
山下治二	42. 5. 8~43. 5. 8	
村上一良	43. 5. 8~44. 5. 9	
沢田良蔵	44. 5. 9~46. 1. 2	
村上一良	46. 1. 22~46. 4. 29	
山下治二	46. 5. 7~47. 4. 27	
村上一良	47. 4. 27~48. 5. 8	
沢田民四郎	48. 5. 8~在任中	

歴代副議長		
水上義介	29. 4. 10~30. 3. 31	
杉江達太郎	30. 4. 5~32. 4. 7	
井上健一	32. 4. 8~33. 4. 3	
山本広志	33. 4. 4~34. 3. 31	
久田金蔵	34. 4. 2~36. 3. 31	
村上一良	36. 4. 1~38. 3. 31	
都築治郎兵衛	38. 5. 7~40. 4. 30	
伊藤嘉蔵	40. 5. 1~41. 10. 31	
山下治二	41. 11. 1~42. 4. 29	
沢田民四郎	42. 5. 8~43. 5. 8	
相羽友弥	43. 5. 8~44. 5. 9	
伊藤九朗	44. 5. 9~45. 5. 8	
村上一良	45. 5. 8~46. 1. 22	
相羽友弥	46. 1. 22~46. 4. 29	
夏目善男	46. 5. 7~47. 4. 27	
山本國夫	47. 4. 27~48. 5. 8	
伊藤好一	48. 5. 8~在任中	



市議会議員名簿

議席	氏 名	所属委員会	党 派 別	職 業	年 令	住 所
1	稲葉民治郎	総 務	無 所 属	農 業	43	常滑市多屋字地先2
2	稲 葉 務	経 済	"	代 表 社 員	47	" 古場字栗下前27-5
3	水 野 喜 一	文 教	"	農 業	49	" 蒲池字蒲池郷中63
4	間瀬明 治	経 済	"	新聞販売業	51	" 大野町字十王58
5	伊 藤 涉	建 設	"	農 業	51	" 榎戸字金荒子227
6	都築行雄	建 設	"	"	52	" 久米字東郷3
7	今 村 尚	総 務	"	農 漁 業	53	" 坂井字蛭沼41
8	杉江武寿	文 教	"	製 陶 業	62	" 字山方100
9	吉田惣造	経 済	"	会 社 員	50	" 榎戸字新町南123
10	大河内正治	総 務	"	"	41	" 字梶間口14
11	大岩喜代一	建 設	"	農 業	65	" 大谷字道向14
12	久野義雄	文 教	"	呉服販売	67	" 金山字北郷11
13	水口重次郎	建 設	"	理 容 業	69	" 字宮下3
14	関 一 雄	経 済	"	味噌醤油醸造業	38	" 字北郷128
15	盛田亮一	文 教	"	無 職	70	" 大谷字浜条125
16	山田竹士	経 済	"	会 社 社 長	51	" 字口田42
17	山本国夫	文 教	"	会 社 役 員	53	" 字前田東割47
18	竹内利幸	総 務	"	農 業	53	" 金山字平井106
19	沢田信也	経 済	日本共産党	政 党 役 員	39	" 大谷字奥条37-2
20	庭瀬健太郎	建 設	"	"	41	" 字野間口33
21	沢田民四郎	総 務	無 所 属	会 社 社 長	63	" 樽水字新居95-2
22	伊藤好一	文 教	"	出版印刷業	63	" 大野町字新町北53
23	夏目善男	建 設	"	農 業	56	" 古場字坪根17-1
24	土井太郎	文 教	"	無 職	63	" 西阿野字忠田43-3
25	古川三十郎	総 務	"	"	66	" 字平井口51-33
26	相武喜久四郎	建 設	"	農 業	65	" 多屋字森西105-1
27	相羽友弥	建 設	"	代 表 社 員	51	" 字北屋敷127
28	村上一良	経 済	"	農 業	57	" 矢田字東根組13
29	山下治二	総 務	"	"	60	" 西ノ口字郷中109
30	角野和昭	文 教	公明党	左 官 業	45	" 字土取畑21

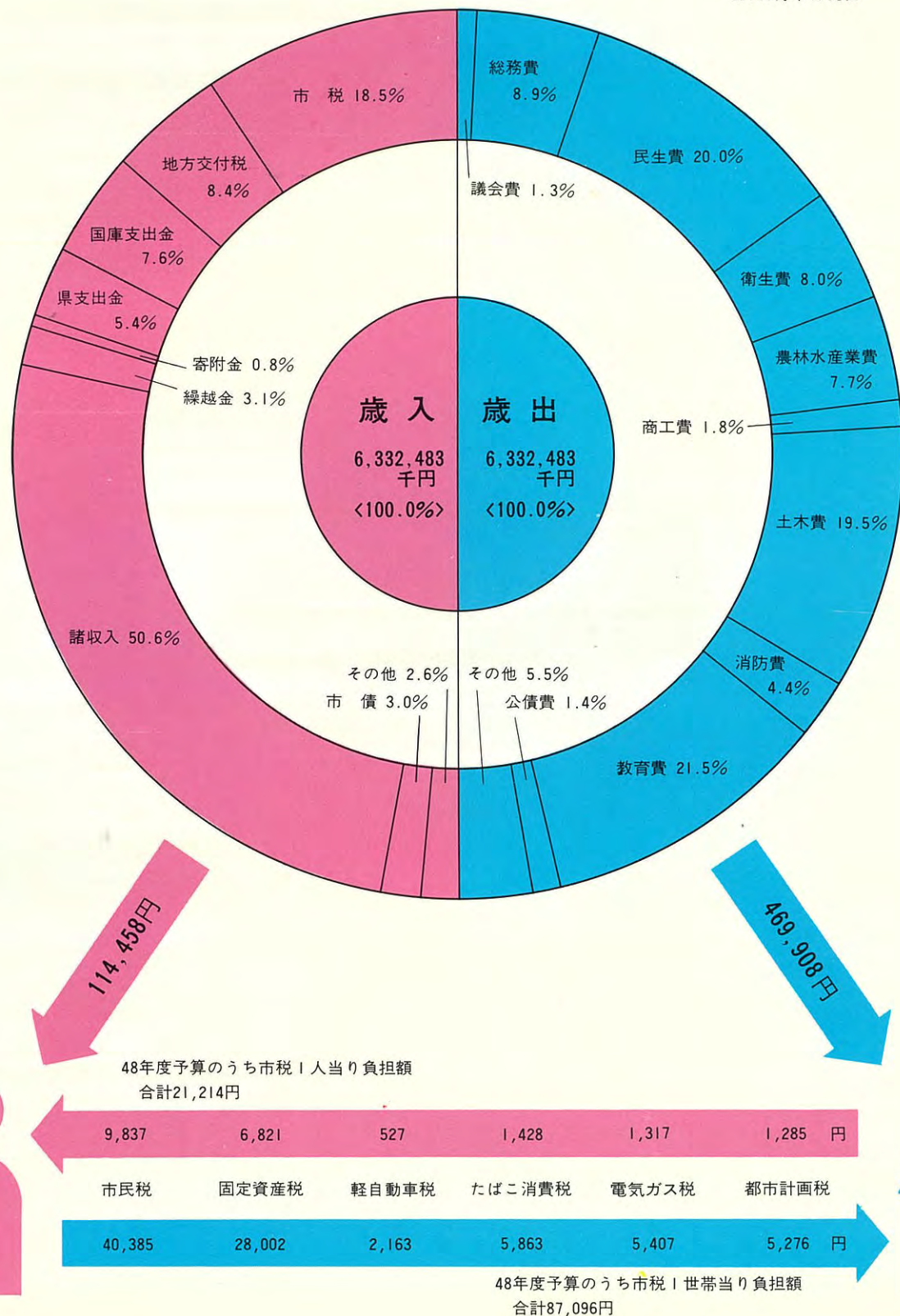
昭和48年度一般会計予算の目的別及び性質別構成状況

48.12月末日現在

財政

最近における経済社会の急速な進展とともに、行政需要も高度多様化し、ますます増大し、交通安全、公害対策等新しい需要を生じつつあり、行政の合理効率化を余儀なくされ、その計画的整備を図ることが強く要請されている現状にかんがみ、国の財政計画をもとに積極的に行政施設水準の向上を図り「地域づくり」「街づくり」の事業を計画的に実施することによって、将来における長期的な見通しのもとに活発なる公共投資を中心に行政の近代化を図らなければならない。

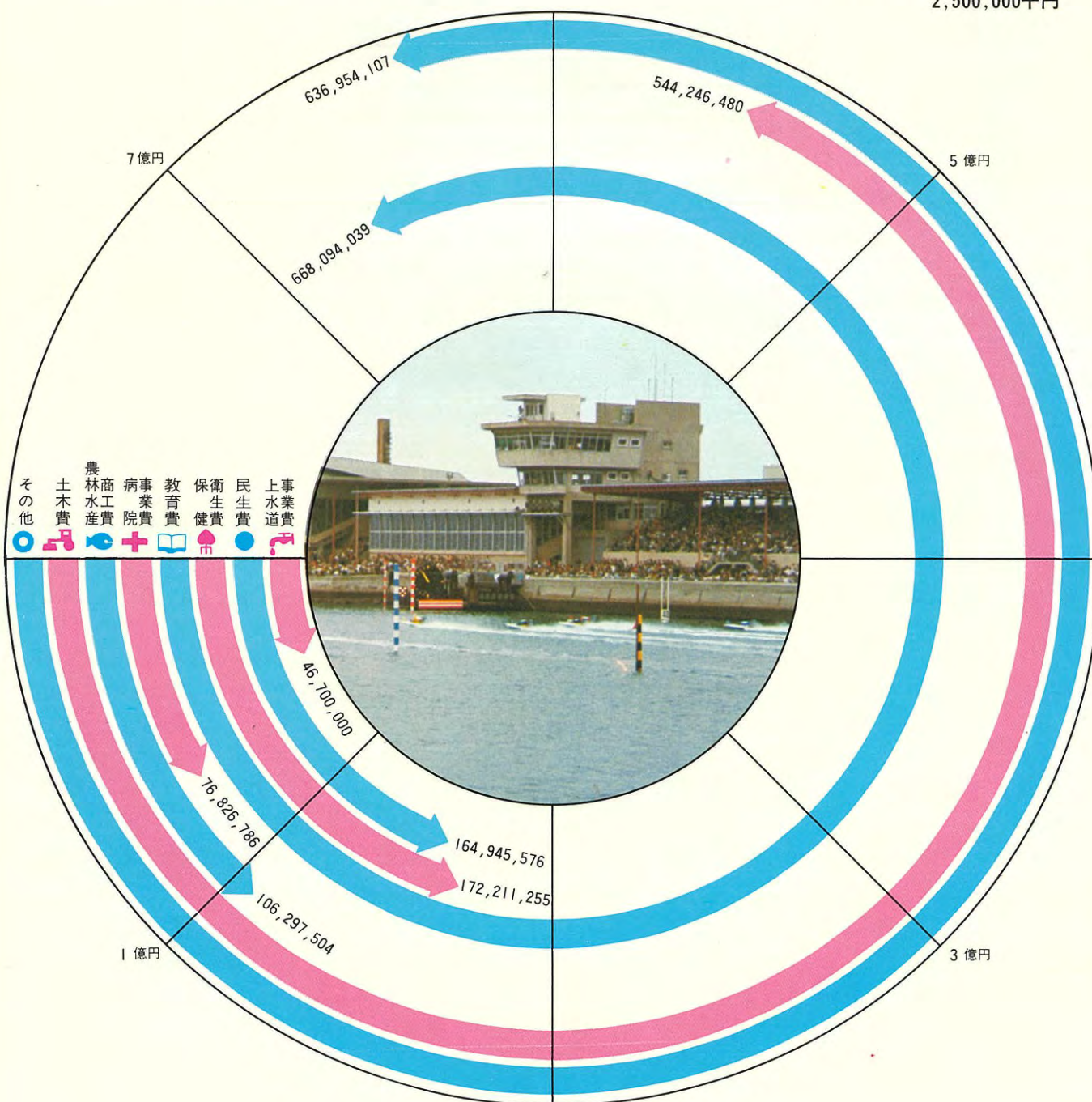
この様な状況下において、堅実な財政運営を基幹として市民福祉の向上を主標に、交通安全対策の推進、産業基盤の整備、教育の振興と設備の充実等の推進を最重要施策として積極的に行政施設水準の向上に努めている。



昭和47年度収益金使途状況

他会計操出金合計

2,500,000千円



モーターボート

近年、国民のレジャーへの欲求度が強まっている背景の中に、競艇事業の売上げは大きく伸びている。

わが国に競艇という言葉が未だ通用しない創設当時の文字通りの苦勞はさることながら、当事業の収益金が、本市財政に大きく貢献している今日的な意義は余りにも大きく、一時期を画するこの年にあたり、競走法における所期の目的達成の再認識と、将来に向って益々健全な雰囲気でのレクリエーションの場として、また、ファンの要求に応えていくことが固く約束されている。

市民病院

市民の医療機関として昭和34年5月開設された市民病院は当市を中心とした地域住民の健康を守る医療サービスを行なうセンターであり、市内福祉施設の中で最も重要な役割を果たしており、なお、一層市民の要望に応え得るため、病棟を始め診療、管理部門の増築と各種医療機器設備の整備事業もなり、この新築と医療施設の充実した病院で市民が安心して快適な診療が受けられ、健康で明るい日常生活を営まれるよう、一層の努力がなされている。





陶芸研究所

小高い常石の丘の上、近代的なこの研究所の中で、日本6古窯の一つ「古常滑」の伝統を受け継ぐ陶芸家たちが、日夜研究に、制作に孜々として励み、伝統陶芸の保持、作家の育成など、その振興に大きな役割を果たしている。

ダイナミックな古常滑の展示は、内外の見学者多数を集め、近年陶芸愛好の風潮とともにその数は年々増加している。



常滑市陶磁器会館

昭和45年10月、陶磁器業界のセンターとして設置された常滑市陶磁器会館は、3階に会議室、2階には業界各関係組合、1階では常滑を訪れる人々に常滑焼の展示紹介、ならびに即売がなされ、一方、関係者の取引のあつせん場として関係者はもとより外来者にも広く利便がはかられている。



愛知県常滑窯業技術センター

昭和43年10月、建設された本センターは、県下の窯業界に於ける今日の問題、明日の研究課題を選定し、専門分野に於いて試験研究を進め県下中小企業の技術研究の共同施設の役割を果たしている。

また、だれでも気軽に各種施設が利用でき、研究、試験、分析などの依頼に応じるとともに意匠図案および試作等がなされている。





久米浄水場

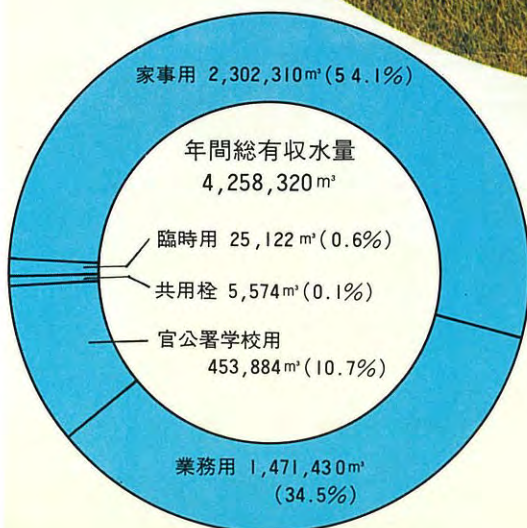
上水道

近代都市の必須条件であり、文化生活のバロメーターともいわれる上水道は、愛知用水上水道計画により、昭和32年12月、厚生省の認可を受け着工し、昭和37年2月完成、愛知県営久米浄水場から供給され、全市域に給水されている。この完成により、従来の市営ならびに組合営の簡易水道はすべて整備統合され運営の一元化が実現された。

さらに第1期拡張事業は昭和40年1月に完成、給水人口4,500人増を確保、第2期拡張事業は昭和50年を目標に給水人口19,500人増が見込まれ、1人1日平均294ℓ、1日最大給水量24,000m³の事業で昭和41年に着工され、48年度に完成した。年々増大する水需要に対処するため、引き続き第3期の拡張事業が昭和55年を目標に給水人口7,000人増、1人1日平均355ℓ、1日最大給水量32,000m³の計画で昭和49年度から4カ年計画で実施され上水道の確保がなされる。

水道の現在と将来 (目標年次 昭和55年)

項 目	年 次	昭和47年	昭和55年	指 数	
				昭和47年	昭和55年
総 人 口(人)		55,285	68,000	100	123
給 水 人 口(人)		48,575	64,000	100	132
普 及 率(%)		88	94	100	
1人1日平均給水量(ℓ)		277	355	100	128
1日平均給水量(m ³)		13,452	22,720	100	169
1人1日最大給水量(ℓ)		367	500	100	136
1日最大給水量(m ³)		17,810	32,000	100	180
年間総配水量(m ³)		4,909,927	8,292,800	100	169
年間総有収水量(m ³)		4,258,320	7,124,800	100	167



産業

工業

市の中心部には大小の製陶工場がひしめいており、全国的に陶器の町として知られている。この常滑焼は遠く平安時代から良質の陶器の産地として伝統を誇り安政年間にはじまった朱泥（しゅでい）はそのさびた色のはだ合いと穏和な光が広く海外にまでもてはやされる当市独特の産物である。

明治以後、この朱泥に土管などの建築陶器が加わり、現在は衛生陶器・タイル・建築ブロック等をはじめとして装飾および芸術品あるいは玩具、日用生活品など、はば広く生産されている。とくに陶管はわが国最大の生産を誇っている。

平安鎌倉の穴窯時代に制作されたダイナミックな古常滑は、今また優れた陶芸作家の輩出によりわが国陶芸界で高く評価されている。

このほか市の南、北部は知多木綿の産地として多くの織布工場があり、また知多の酒で知られる醸造業も盛んである。

常滑市商工会館

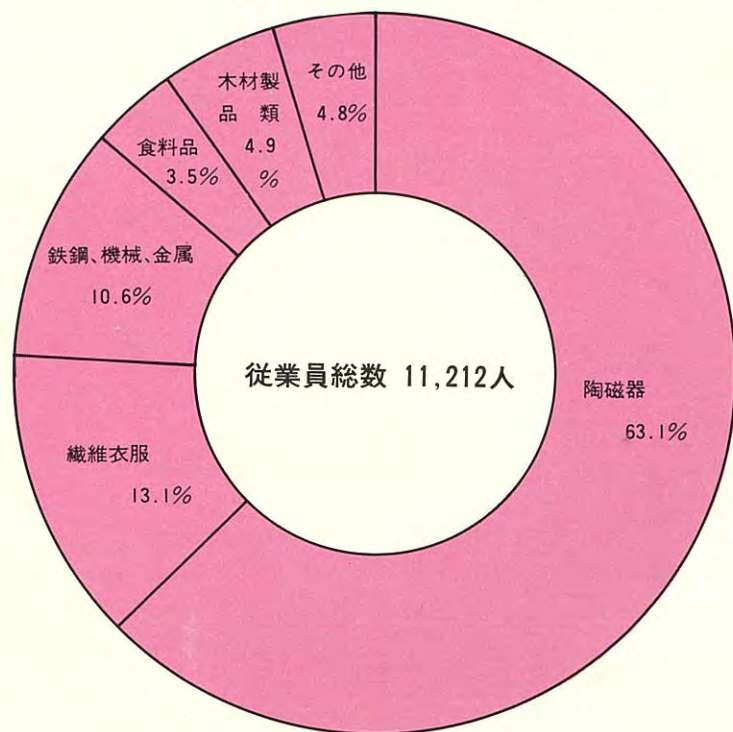
常滑市商工会議所

市内商工業者の念願であった会館の竣工と、商工会議所の創立が昭和48年4月同時に行なわれ、市内商工業の振興のため有効に利用される一方、業界の各種相談所、講習会、講演会等のサービス業務をはじめ、業界内の研究、会議等業界はますます活気を呈している。



市商工会館

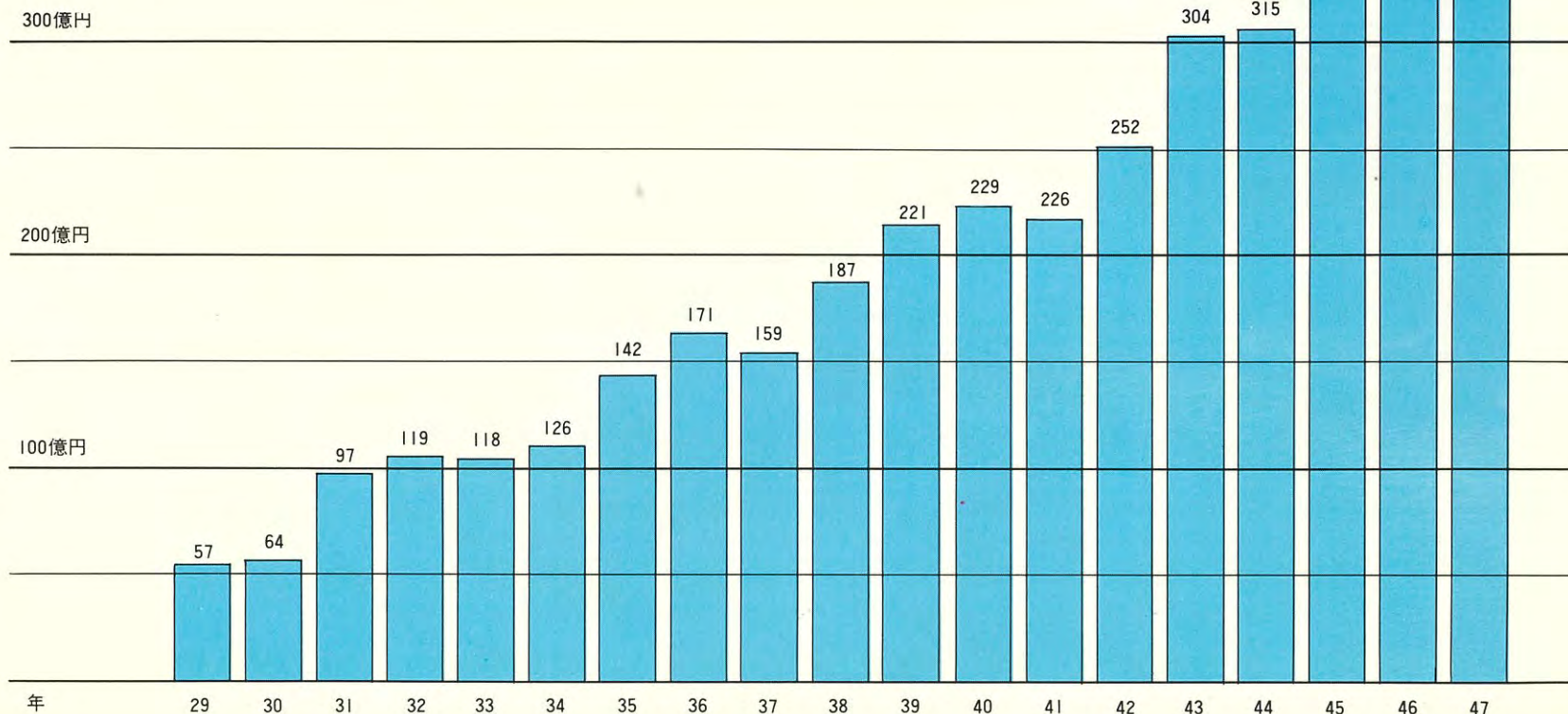
業種別従業員割合 47. 12. 31現在



業種別生産状況 47. 12. 31. 現在

種 別	事業所数	従業員数	生 産 額	出荷率
		人	万円	%
陶 磁 器	469	7,037	2,143,383	52.2
織 維 衣 服	98	1,470	480,586	11.7
鉄鋼機械金属	66	1,189	692,360	16.8
食 料 品	35	392	281,610	6.9
木 材 同 製 品	18	96	22,789	0.5
紙 同 製 品	14	252	123,916	3.0
家具装備品	9	46	11,885	0.3
輸 送 機 器	14	116	27,469	0.7
出 版 印 刷	4	76	24,878	0.6
そ の 他	37	538	299,995	7.3
合 計	764	11,212	4,108,871	100.0

工業生産19年のうつりかわり





陶磁器の業種別生産状況

47. 12. 31. 現在

種 類	事業所数	従業員数	生 産 額	出荷率
		人	万円	%
陶 管	68	646	210,716	9.5
タ イ ル	24	2,861	989,820	44.5
衛 生 陶 器	16	945	299,534	13.5
食卓用厨房用陶磁器	57	368	81,475	3.7
置 物 玩 具	66	830	242,187	10.9
陶 磁 器 絵 付	28	111	8,920	0.4
植 木 鉢	94	787	218,488	9.8
石 こ う 製 品	9	55	9,410	0.4
素 地 製 品	12	94	37,011	1.6
そ の 他 の 窯 業	112	571	127,352	5.7
合 計	486	7,268	2,224,913	100.0



繊維工業5年間の生産状況

単位万円

種 別	年 次	43	44	45	46	47
紡 績		376,810	305,785	251,532	297,359	116,846
綿 ・ ス フ		176,728	163,013	243,404	201,868	214,323
麻 ロ ー プ		3,237	2,909	3,357	3,205	3,199
シャツ・作業服・その他		197,900	101,281	123,254	149,720	146,218
合 計		754,675	572,988	621,547	652,152	480,586

食料品5年間の生産状況

単位万円

種 別	年 次	43	44	45	46	47
酒 ・ 調 味 料		161,750	173,488	194,149	189,858	222,195
パン ・ 菓 子		16,341	18,768	20,471	22,031	24,689
そ の 他		19,232	19,680	29,704	34,001	34,726
合 計		197,323	211,936	244,324	245,890	281,610



その他の生産状況

単位万円

種 別	年 次	43	44	45	46	47
鉄鋼・機械・金属		326,584	385,127	637,899	654,801	692,360
紙 同 製 品		66,435	83,682	115,916	133,768	123,916
木 材 同 製 品		14,963	13,201	24,065	21,960	22,789
家 具 装 備 品		9,448	9,167	12,736	8,880	11,885
そ の 他		36,734	22,084	63,785	177,072	270,812
合 計		454,164	513,261	854,401	996,481	1,121,762

商業

近年商店街単位で組織的な経営へと活動を始めている一部商店街では、名実ともに近代的な商店街づくりにとすでに資金の積立をはじめなど、近代経営に組みかえるべく合理的な商店経営の研究指導がなされているほか関係業者の協同化も進められている。

毎年開催される常滑焼見本市は、陶磁器販売業者の相互協力により全国の業者が集まりにぎわいを見せる。



主な業種別販売推移

		単位万円			
業 種	年	41	43	45	47
陶 磁 器		297,333	393,113	277,077	321,342
酒 ・ 調 味 料		90,561	100,051	66,687	74,781
呉 服		89,456	101,934	143,645	122,905
石 油 ・ 石 炭		89,582	119,273	166,147	171,168
菓 子 ・ パ ン		44,460	52,914	31,193	43,986
野 菜		35,896	66,768	97,783	65,659



銀座通り商店街



大野商店街

産業種類別調

昭和47年

産 業 分 類	区 分	商 店 数	従 業 員 数	商 品 販 売 額
			人	万円
総 数		1,054	3,343	2,065,518
卸 売 業		107	639	937,118
小 売 業		947	2,704	1,128,400
各 種 商 品		—	—	—
織物・衣服・身廻品		134	354	140,853
飲 食 料 品		345	945	384,086
飲 食 店		119	343	54,217
自動車・自転車等		37	120	57,994
家具・建具・じゅう器		120	358	194,380
そ の 他 の 小 売 業		192	584	296,870
医 薬 品 ・ 化 粧 品		47	96	33,722
農 耕 用 品		11	38	49,628
燃 料		35	160	148,563
書 籍 ・ 文 房 具		25	150	27,940
中 古 品		1	×	×
そ の 他		73	(140)	(37,017)

農業

市内東部の丘陵地は農地として利用されており、昭和36年通水した愛知用水によって溜池などにたよっていた当地の農業を一変させた。

雨期を待たず作付けできるなどから矢田、前山地区の農業構造改善事業に見られるように機械化等農業経営近代化施設を導入して省力栽培が行なわれている。耕地面積も造成されたが、工場、住宅への農地転用により増加していない現状である。

農業従事者は減少しつつあるが農家数は現状を維持、兼業農家は依然兼業が行なわれ、自立農家は米作を主体に、家畜、養鶏、園芸のうち一つを加えて経営規模を拡大し、施設の近代化と農業労働力の合理化を進めるとともに、これら農産物の販売流通機構の整備統合に努めて農業所得の向上が計られている。

市合併発足に伴い、農業協同組合は6組合となったが、農家へのサービスと営農の向上を期して、昭和49年3月31日、6組合が1つに合併された。



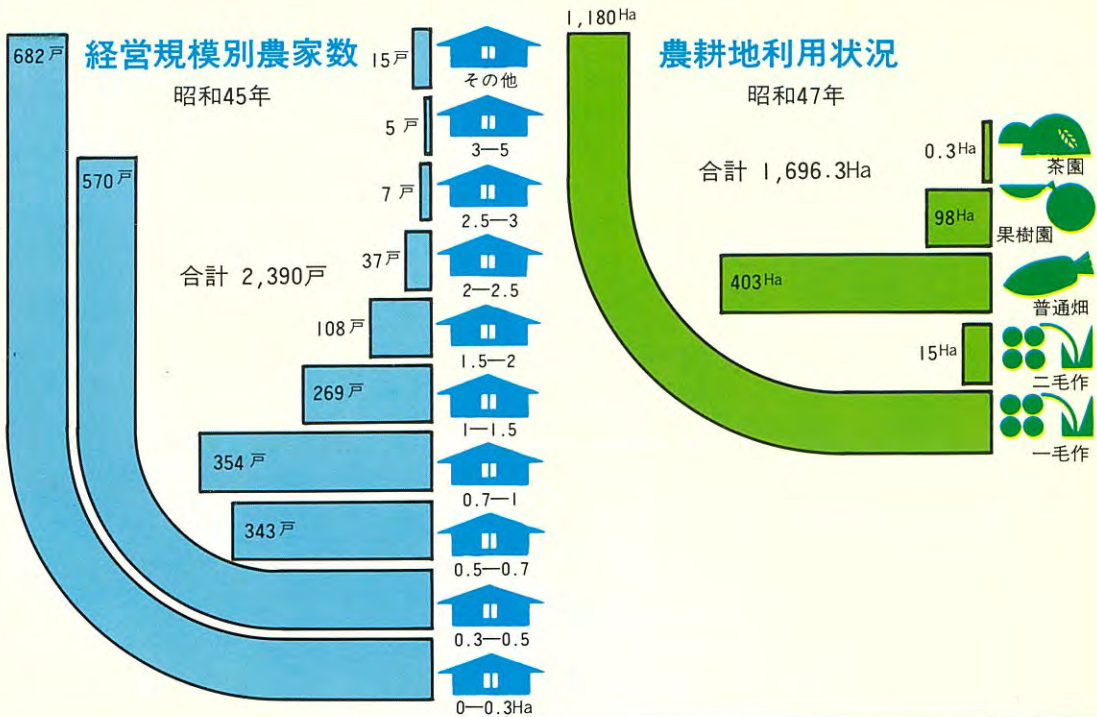
愛知用水

昭和36年10月に通水した愛知用水は、本市の東部、知多半島中央部を幹線水路が縦断し、本市の水源となって干害のない豊かな土地へと一大改革をもたらした。本市を通るこの幹線水路からは27本の支線によって農業用水が導入され田約1,180Ha、畑約227Haが受益地となっている。さらに上下水道の大きな水源としてその役割は多大である。

農業基盤整備パイロット事業

市内の市街化調整区域の全域(3,897ha)の土地利用区分が明確にされ、それぞれの用途に適合する整地が行なわれるとともに、道路、用水路、排水路が充実される。また、市街化区域における排水路の断面不足により事業区域の排水が不可能な水量はこの事業に含めて施行されるもので、用水と排水が分離される。また、既設集落の生活環境整備事業として、集落内の道路整備および子供の遊び場、集合所等も併せて施行される。

なお、営農に必要な近代化施設および大型機械の導入が図られ、また陶磁器工場等の集団化を図るための用地緑地公園および公共施設用地等の確保も併せて推進される。



水産業

本市の漁業は伊勢湾の長い海岸線に沿って、北から大野、鬼崎（蒲池、榎戸）町屋、小鈴谷、（大谷、小鈴谷）の漁港と常滑港を有し、沖合の各所に人工築磯を設け伊勢湾内有数の漁業地である。

全国のモデルケースとなっている樽水海岸のコンクリートパイル防波柵、鬼崎漁業の湛水畜養場は内外の注目をあつめ近年はとくに「のり」の養殖も盛んである。

漁業別水揚げ

昭和47年度

組合別	種別	魚 貝 類		の り	
		数量	kg	千枚	千円
常 滑 (277名)	数量	992,000		29,997	
	金額	15,954	千円	574,310	千円
鬼 崎 (270名)	数量	424,000		44,805	
	金額	80,536		845,474	
大 野 (50名)	数量	10,000		7,857	
	金額	2,000		154,926	
小鈴谷 (302名)	数量	218,000		36,022	
	金額	19,894		530,352	
合 計 (899名)	数量	1,644,000		118,681	
	金額	118,384		2,105,062	

鬼崎漁港

鬼崎漁港は市内北部の漁業基地であり、新鮮な魚市場として活況を呈している。

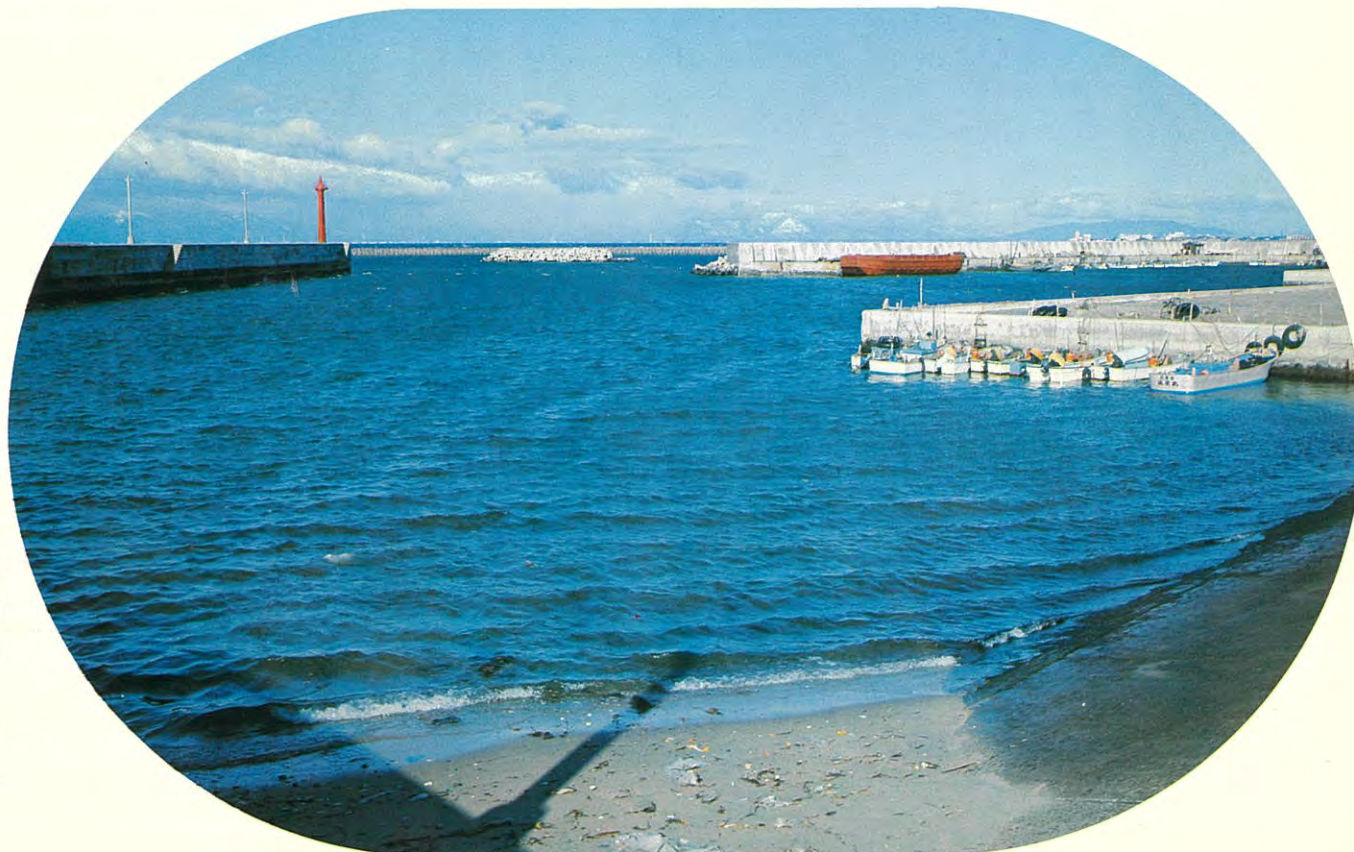
漁港内にある“のり”種苗場からは良質の種苗が漁民に供給されている。



苅屋漁港・小鈴谷漁港

市内南部苅屋漁港は昭和39年に着工され、現在、第5次整備計画に基づき、52年度完成目標で、築造されている。

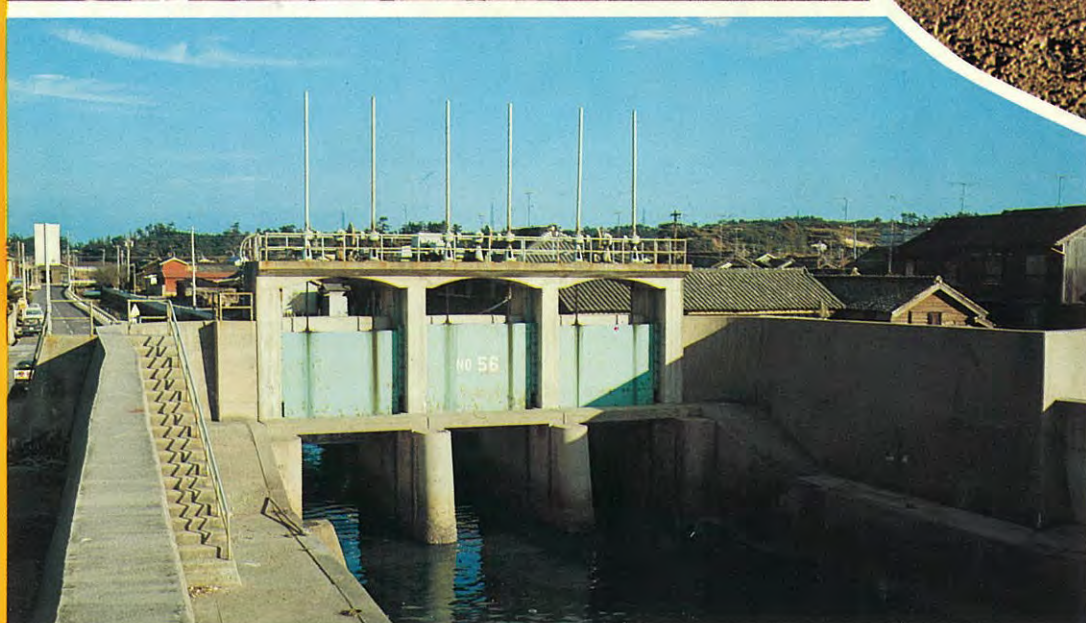
小鈴谷漁港は、昭和48年に着工し、52年度完成目標に工費約3億円で築造されている。

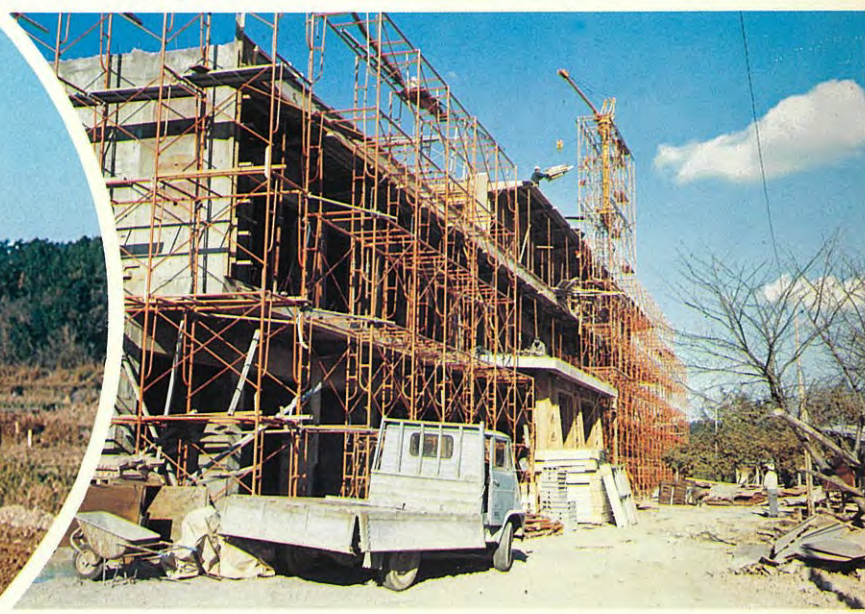
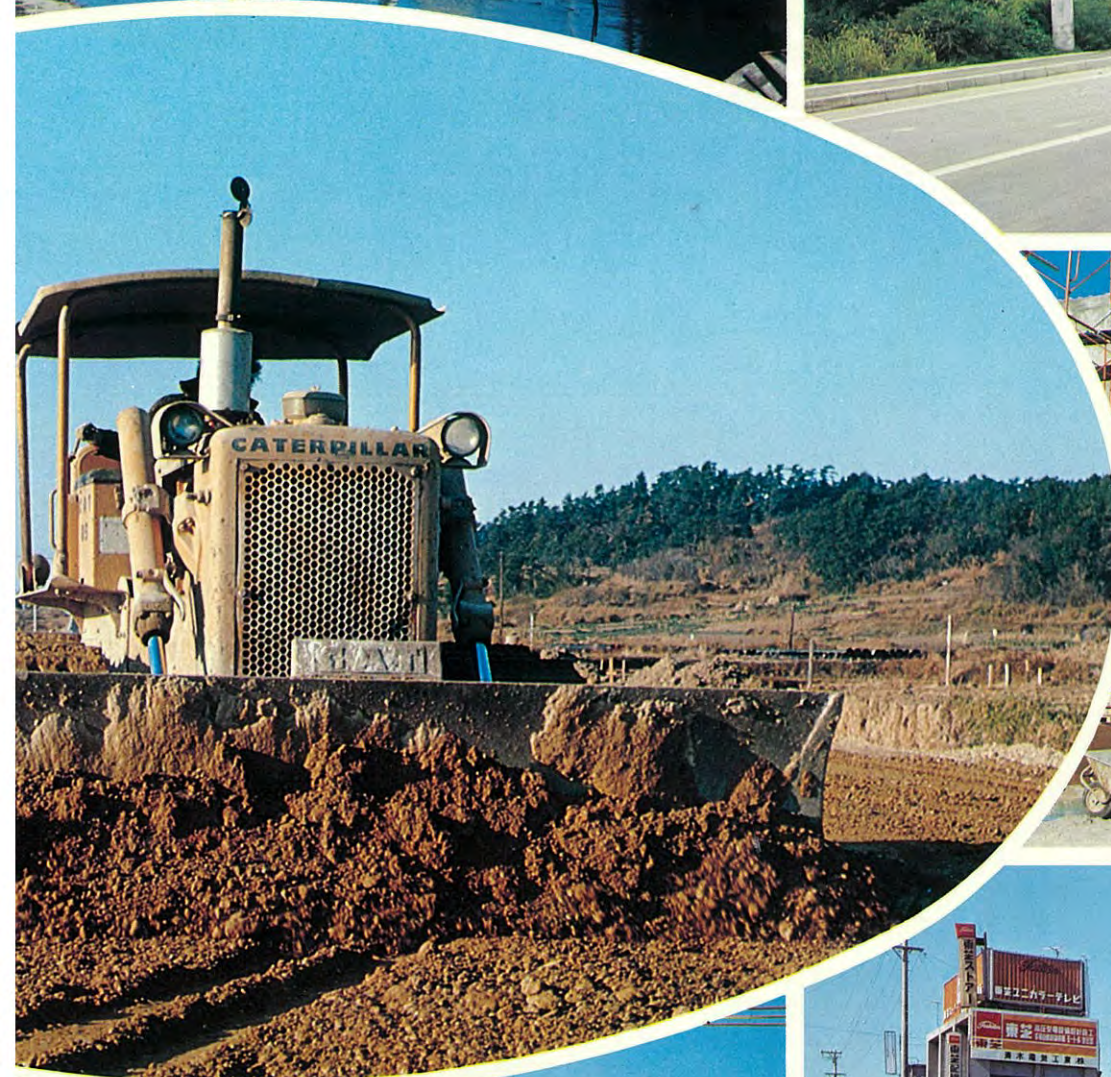


新しい 都市づくり

土木建築

明るく住みよい常滑市を……
本市の都市計画は、市制施行前の昭和27年7月1日常滑、西浦および鬼崎の三町、人口3万人を対象区域として制定されたが、その後社会情勢の変遷に伴い広域の都市計画が樹立された。このうち都市計画街路は昭和31年8月11日認可決定され、以後流動する地域社会の変化に対応し、市を縦断する国道のバイパス線の決定など部分変更を加え、現在知多西部線ほか17路線総延長62,630mが計画されている。これら路線の内、常西線(3,3,1)は昭和40年度から5ヵ年計画事業として着工され、また、大野久米線(3,5,9)、瀬木線(3,5,14)は昭和42年度に着工される等、この都市計画にもとづく街路事業は計画的に着々と施行されている。また、土地利用計画にもとづく用途地域の指定を受け、さらに広域計画の必要性から愛知県新地方計画にもとづく知多広域開発を基盤とした総合的な計画が推進される。







大魯公園陸上競技場



大魯公園常滑プール



常石公園



ゆたかな 環境

公園

市東部の丘陵地にある小高い山は伊勢湾を見おろす眺望の地としてハイキング、憩いの場として市民に親しまれているが近年福祉行政の重点施策として、環境整備に重点を置く生活基盤整備型となり、市街地内の公園づくりが進められている。

本市は都市公園として、みたけ公園・城山公園・大曽公園・陶芸村高坂墓園を計画決定し、事業は昭和45年より大曽公園築造に着手、面積17.4Ha内に夜間照明のある野球場、運動場、プール、児童遊園、遊歩道、駐車場等の施設を設け、さらに、バレーコート、弓道場の建設が着手され公園づくりが推進されている。



大曽公園



大曽公園常滑球場



みたけ公園



大曽公園児童遊園

すこやかに育て

教育文化

学校教育は「機会均等」の主旨から小学校中学校の統合が行なわれ、その施設整備拡充には、最大の配慮がなされている。また、危険校舎の改築、人口増、社会増に対処するた

めの増築工事を始めとし、児童生徒の学習効果を高め、生活環境の合理化をはかるため、既設木造校舎を鉄筋コンクリート構造の永年建造物へと改良するための整備計画は年々推しすすめられている。

また、児童、生徒の体位向上と健康増進、併せて市民総健康運動の一環としての体力づくりの場として、全小中学校に屋内運動場が建設された教育施設の整備拡充は実にめざましい。

緑の学園づくりに

三つ児の魂百までという。幼児はものごとを素直に受け入れる。

この素直な子供時代に交通安全と情操教育が熱心に指導されている。年々近代施設に改築される市内幼、保育園、小中学校はいずれも将来緑の学園として構想され、植樹が行なわれつつある。小高い丘に建ち、伊勢湾を見おろし、緑に囲まれた学園での情操教育は子どもらの将来に大きな期待をいだかせる。



市立学校規模(幼・小・中)

昭和48. 12. 1 現在

校別	区分	生徒数	学級数	教員数	校別	区分	生徒数	学級数	教員数
		人		人			人		人
三 和 東 幼		90	4	5	三 和 小		392	12	16
三 和 南 幼		141	6	7	大 野 小		562	16	21
常 滑 幼		168	6	7	鬼 崎 北 小		421	12	16
合 計		399	16	19	鬼 崎 南 小		932	24	29
青 海 中		457	12	20	常 滑 小		1,830	43	52
鬼 崎 中		578	15	24	西 浦 北 小		506	14	20
常 滑 中		818	20	35	西 浦 南 小		269	9	14
南 陵 中		573	14	26	小 鈴 谷 小		420	12	15
合 計		2,426	61	105	合 計		5,332	142	183

愛知県立常滑高等学校

市内唯一の常滑高等学校は、昭和23年の教育法改正により、工業学校と高等女学校の統合で誕生し、全日制と定時制があり、近年は進学率の向上により“市内にもう一つの高校を”という全市民の永年の熱望がかなえられ自然の緑にかこまれ、眺望のよい市内北部、丘の上に昭和50年に開校される。



南陵中学校



小鈴谷小学校



鬼崎南中学校



常滑中学校



西浦南中学校



鬼崎北小学校



鬼崎中学校



西浦北小学校



大野小学校



青海中学校



常滑小学校



三和小学校 33



競技場



ロールバックススタンド兼用
3 F 競技場



第1会議室



サーキットトレーニング

市民体育会館

体育の日 がはじめて国民の祝日となった昭和41年10月落成、市民館と体育館の機能を有するユニークな建物である。館内には、サーキットトレーニング室が設けられ、健康で強く美しくをモットーに市民の多数がトレーニングに参加している。

別に市民会館的な利用もされ、施設利用は充分になされている。

市立図書館

市立図書館は、市民体育会館の隣りに、昭和45年に着工され、同年8月31日に総工費1億3800万円で完成し、10月1日より市民に開館された。

館内の蔵書数は38,000冊余りあり、広く市民に利用されている。



ブック・モービル



読書閲覧室



ブラウジング



なかよし文庫

学校プール

児童生徒の体位向上と健康増進をはかり、安全かつ、衛生的な水面で、水泳訓練の指導効果を十分高めるため、各小中学校にプール建設計画が進められている。

まず、昭和44年に建設されたのを始めとし、年々建設され、12校中10校に建設された。

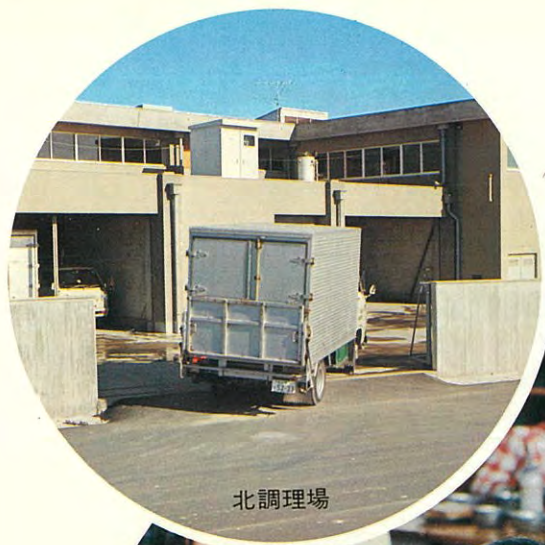
標準型は水面25m×15m 高学年用5コース、水深1.10m～1.30m、低学年用2コース、水深0.60m～0.80mの地上盛土型で、アルミプールと鋼板製プールで浄化装置、更衣室、便所等附属設備も完備している。

市野外教育センター

児童生徒の自然環境に対する共同生活を通じて、心身の健全な発達を図ることを目的として、北設楽郡設楽町の町有施設旧八橋小学校に設置された。

新鮮な空気、緑の山々、涼しい夏、山間設楽町（常滑から車で3時間～3時間30分）は臨海の市内児童生徒には、活気に満ちた共同生活の場が与えられている。





北調理場



南調理場

学校給食共同調理場

昭和40年4月、常滑市学校給食共同調理場として完全給食（A型 毎週5回）が実施され、さらに昭和45年4月から北調理場が開設され、市内小中学校並びに幼稚園、保育園の給食を共同調理場で一本化し、完全給食が実施された。

両調理場の給食可能数は12,000食で、現在実施校（園）は小学校8、中学校4、幼稚園・保育園17の合計29施設、11,400食の給食が実施されている。

施設は大別して調理室、洗浄室とを区分して設計され、特に北調理場には栄養指導センターが設置され、市内一般、婦人団体の栄養、調理指導並びに研修が行なわれている。

明るく ゆたかに

保育園

市内の保育園は全部市立であり16施設2,537名の園児を受け入れ、さらに11園で乳児保育170名を保育、それぞれ各施設の整備拡充は最大の努力がなされている。



鬼崎南保育園

社会福祉

生活保護をはじめ児童、老人、母子、身体障害者ならびに精神薄弱者など福祉各法の趣旨にしたがい援護、育成および更生のための業務がなされている。昭和46年1月、他都市に先がけ高令者医療費の無料化の実施、老人年金の交付さらに養護老人ホームの建設、マザーズホームの設置などなされ、福祉事業は積極的になされている。



西浦北保育園

市立保育園一覧

49.4月 現在

園 別	認 可 年 月 日	定 員		実人員	保母数	園 別	認 可 年 月 日	定 員		実人員	保母数
		乳 児	幼 児					乳 児	幼 児		
三和西保育園	36.10.27		90	79	5	梶間保育園	47.4.1	20	160	77	10
大野保育園	23.4.1		130	135	8	西浦北保育園	23.4.1	20	180	191	13
鬼崎北保育園	29.6.1	15	235	267	15	西浦中保育園	31.3.31	10	140	127	8
鬼崎中保育園	44.1.1	20	200	271	17	西浦南保育園	25.5.22	15	165	155	12
鬼崎南保育園	27.6.30	20	260	295	20	小鈴谷北保育園	31.10.1	10	190	138	10
常滑北保育園	24.7.1	20	230	307	19	小鈴谷南保育園	38.4.1	10	90	100	8
常石保育園	42.4.1	10	165	230	14	青海保育園	49.6(予定)		250	133	7
常滑南保育園	28.6.19		125	98	6	丸山保育園	49.8(予定)		200	106	7
						計 16 園		170	2,810	2,707	179



鬼崎中保育園



西浦南保育園



市立保育園



鬼崎北保育園



梶間保育園



西浦中保育園

公営住宅

よりよい生活向上を目指し、年々約20戸の公営住宅が建設されている。この市営、公営住宅は将来の地域開発計画と併せて、住宅地帯としての開発の一環となり、また、国の施策の一世帯一住宅を目標に昭和45年度から5カ年計画で中層耐火構造4階建の住宅建設に着手し、住宅対策は前向きで着実に推進されている。



榎戸市営住宅



坂井市営住宅



養護老人ホーム

市立養護老人ホームは緑と自然に恵まれた市内金山地内に、50人の老人が生活できるように建設されており、建物は鉄筋平屋建（食堂、集会室、医務室、管理室等）と2階建（居室）の2棟1,360㎡。

ホームでの生活は心身の健康保持のため日課を定め、毎日を楽しく有意義にすごせるよう趣味のクラブ活動、講習会の開催、娯楽器具の設備あるいは一日バス旅行等のレクリエーションも行なわれ、希望に満ちた、いきがいのある生活ができるように配慮されている。



マザーズホーム

心身に障害のある児童（満18才未満）を対象に「早期発見・早期治療」を主方針として、機能回復訓練、聴力言語指導、保育などで母と子がよりよい生活ができるよう訓練指導ができる施設である。

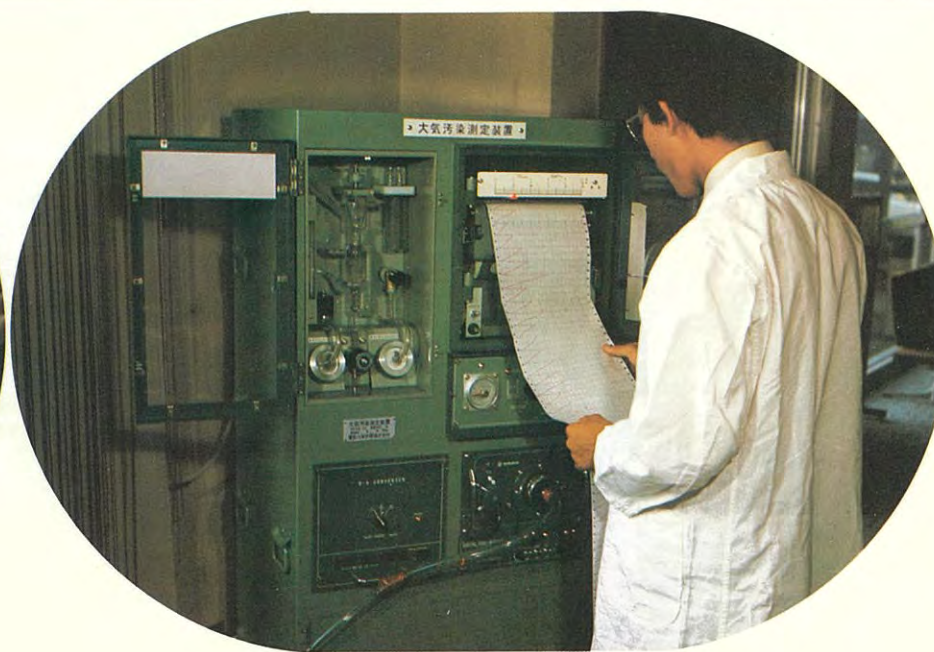
また、県下でただ一つ、国の「心身障害児通園事業」の指定を受けている。

よりくらしよく

衛生

市民の健康を守り、住みよい生活環境を保全する立場から
予防接種、結核検診、成人病検診および母子保健事業等を定
期的に実施し市民の健康管理がなされている。

また、生活環境の保全についてはエンジンダスターによる
一斉防除等により、ハエ、カ、ねずみ等の防除が実施されて
いるが、最近特に深刻化されてきた公害問題は大気汚染装置
等の設置により汚染の実態を調査するとともに、企業とも連
絡を保ちつつ事業所等の改善指導、苦情処理にあたっている。





ごみ処理

家庭から排出される廃棄物は、生活水準の向上、化学製品の利用拡大に伴い、複雑化し、排出量も年々増加している。これらの処理は、週2～3回の収集体制をとり、業者委託により、清掃車8台で回収され、49年に常滑武豊衛生組合（常滑市、武豊町）において建設されたが、1日150トンの焼却能力をもつ、最新鋭焼却場で焼却処理が行なわれている。また、不燃物は埋立処分が行なわれている。

し尿処理

現在の汲取世帯は約65%と推定されているが、これらの収集業務は、市内2業者に委託され、バキューム車6台で収集が行なわれている。

これらの処理は中部知多衛生組合（常滑市、半田市、武豊町）において、49年に1日200キロリットルの処理能力をもつ最新鋭の湿式酸化処理施設を建設し、化学的処理が行なわれている。



安全な くらし

交通安全

市民の健康で安全なくらしを守るために、交通安全の推進は市が主体となってすべきものである。このため市長を中核とし、警察、市議会、教育委員会、交通安全協会が一体となった全市的推進組織を確立〈実行〉を合言葉にたゆみなき実践活動が展開されている。

昭和40年子どもを守る会（ママさんグループ）が結成され、引きつづき、幼、保、小、中一貫した交通安全カリキュラムを策定、徹底した交通安全の指導と教育が続けられている。

さらに43年3月には市の中心部に交通安全センターを開設、幼、保園、小中学校の交通コーナーの整備と相まって交通安全道場として大きな機能が果されている。また、毎日の「おはよう」運動は子どもたちから一般市民に広く波及、交通事故のない明るい町づくりのため全市民の力強い実践は年ごとにすぐれた成果があげられている。

市民の交通災害共済事業は加入率94%と全国各都市に類のない立派な成績があげられている。



交通安全センター



防火と救急

水火災から住民の生命、身体及び財産を護るとともに、近年その予防を主体としている消防は、本市が海岸線が長く、台風、津波等による災害の防止及び火気を多量に取り扱う産業地を主体とした特殊産業都市であることから、水火災及びすべての災害の予防と、その被害の軽減に特に重点が置かれ消防活動がなされている。

昭和29年市制施行とともに、消防団も従来の地域的消防団を脱皮し、連合会組織がつくられ、機械化少数精鋭主義をとり、さらに昭和31年統合、また昭和40年1月常備消防本部、署を設置すると同時に庁舎が建設され、さらに昭和49年度北部出張所、昭和50年度南部出張所新設を目標に、年々その強化を図るとともに、水火災の予防思想の普及がなされている。

火災・救急状況

昭和48年

火災発生件数 50件

救急発生件数 607件



市民の安全を守る

市内鯉江新開地内、官公庁街の中心地に昭和48年4月、愛知県常滑警察署が開署された。

管轄区域は常滑市全域、署長以下1課、9係、1派出所、3駐在所、76名の署員が日夜本市の治安にたずさわっている。交通死亡事故の抑止、暴力犯罪の徹底検挙、市民の日常生活を守る警察活動の強化は、指標の重点であり、市民の期待と信頼はきわめて大きい。

また、住民の地域防犯組織として常滑市防犯協会があり、28名の地区支部長と462名の委員が配置されている。



市民の くらし

交通

本市は、名古屋駅から名鉄常滑線の終点常滑駅に45分て到着する。市内に6駅があり1日平均2万余人の乗降がある。大半は名古屋方面への通勤、通学であり、このほか観光地知多半島南端あるいは半島の東側半田方面へは常滑駅から定期バスが利用される。一方国道は247号線が南下し、また知多中央道路とも結んでおり交通の便は良い、朝夕の通勤時に自転車、バイクの多いのも本市の特徴である。

郵便

郵便集配の敏速化能率化は、昭和38年機構改革が実施され、集配の1本化が計られ、常滑郵便局を普通局に昇格させる一方、集配特定局1、無集配特定局8の合計10局とした。市民1人当りの配達数年間約45通で引き受けより5%ほど多くなっている。

市民生産所得と分配所得

市民生産所得は、第1位が製造業ついで卸小売業そしてサービス業の順位であるが市民分配所得では製造業、サービス業、卸小売業の順となっている。



名鉄電車市内各駅利用状況

昭和47年

駅別	1年間乗降客	1日平均
常滑	3,673 千人	10,148 人
多屋	87	243
榎戸	498	1,374
蒲池	378	1,048
西ノ口	490	1,353
大野町	2,896	8,014

市内自動車保有台数

昭和47. 4. 1 現在

種別	原付自転車		二輪小型自動車	軽自動車			小型特殊自動車
	一種	二種		二輪車	三輪車	四輪車	
台数	3,894	2,220	83	138	318	6,671	661

貨 物 用				乗合用	乗 用		その他
普通車	小 型 四 輪 車	小 型 三 輪 車	その他		普通車	小 型 四 輪 車	
700	6,091	262	10	68	29	5,768	192

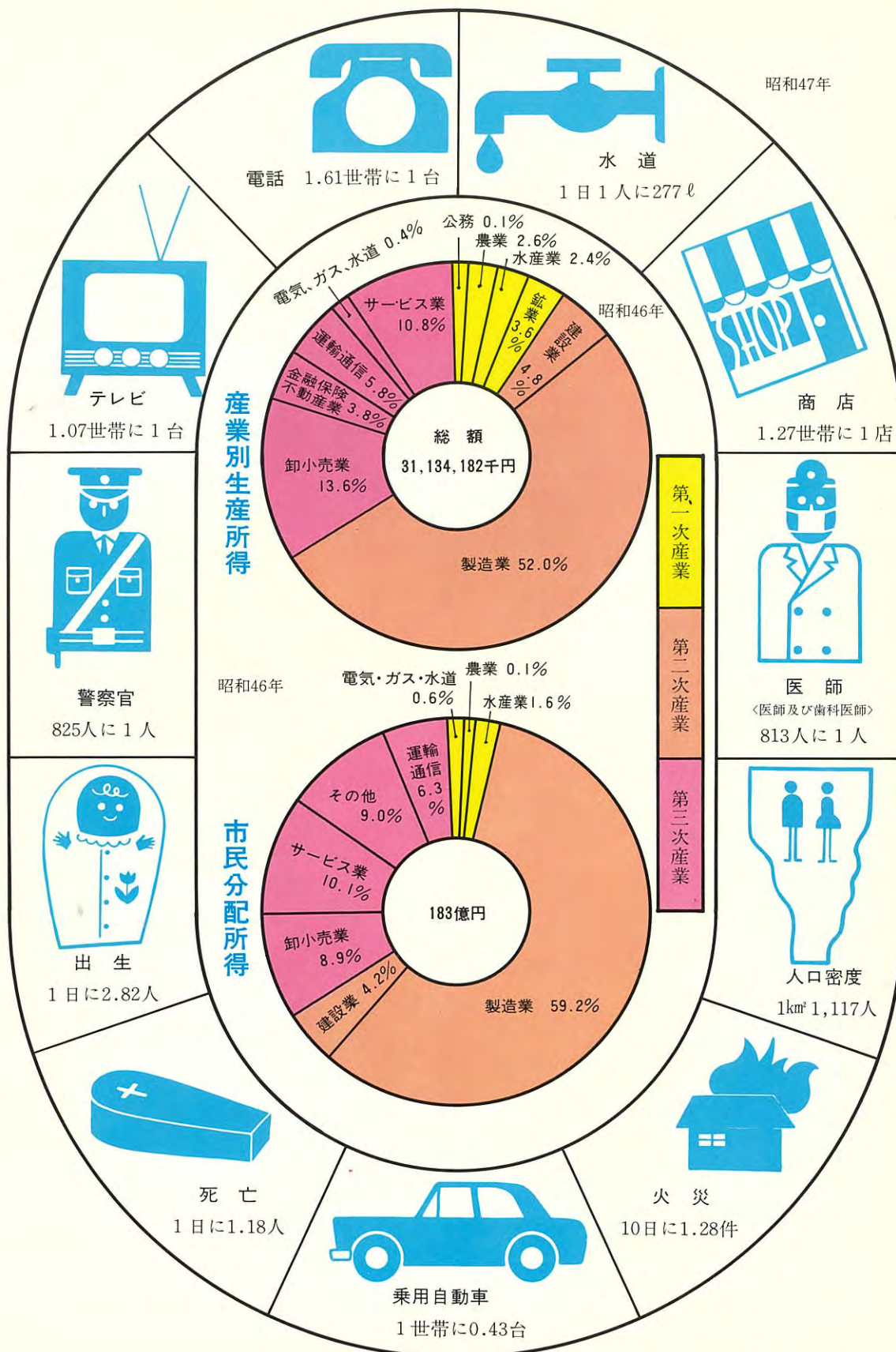
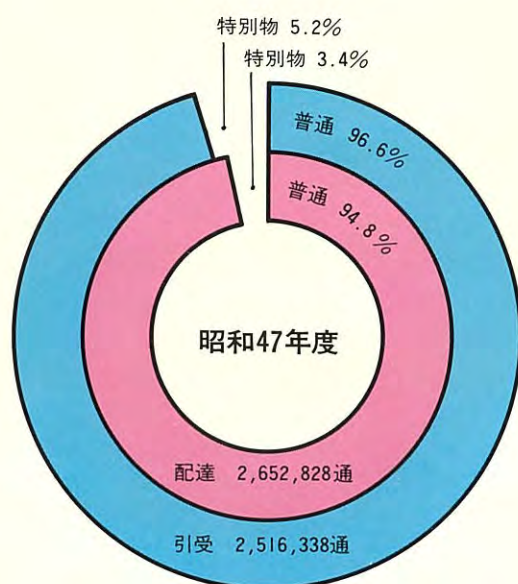


電話・テレビ・有線電話状況

昭和47年

	加入数	率 %
電話加入数	8,329	62
テレビ		
カラー契約	7,837	92
普通契約	4,577	
有線放送電話加入数	9,256	69

郵便状況



観光

鬼崎漁港（ヨット）

鬼崎漁港はヨット基地として日本屈指の最適地として名古屋大学を始めとし大学、実業団の艇庫が置かれており、大型艇約30隻、小型艇約120隻が基地として利用し近年、市の港づくり基本方針が立てられ、漁港関係者、ヨット関係者、それぞれ港づくりに協力運営されている。

太平洋を横断した「チタ2世号」グループの基地であり、毎年全国のヨット競技が行なわれる。

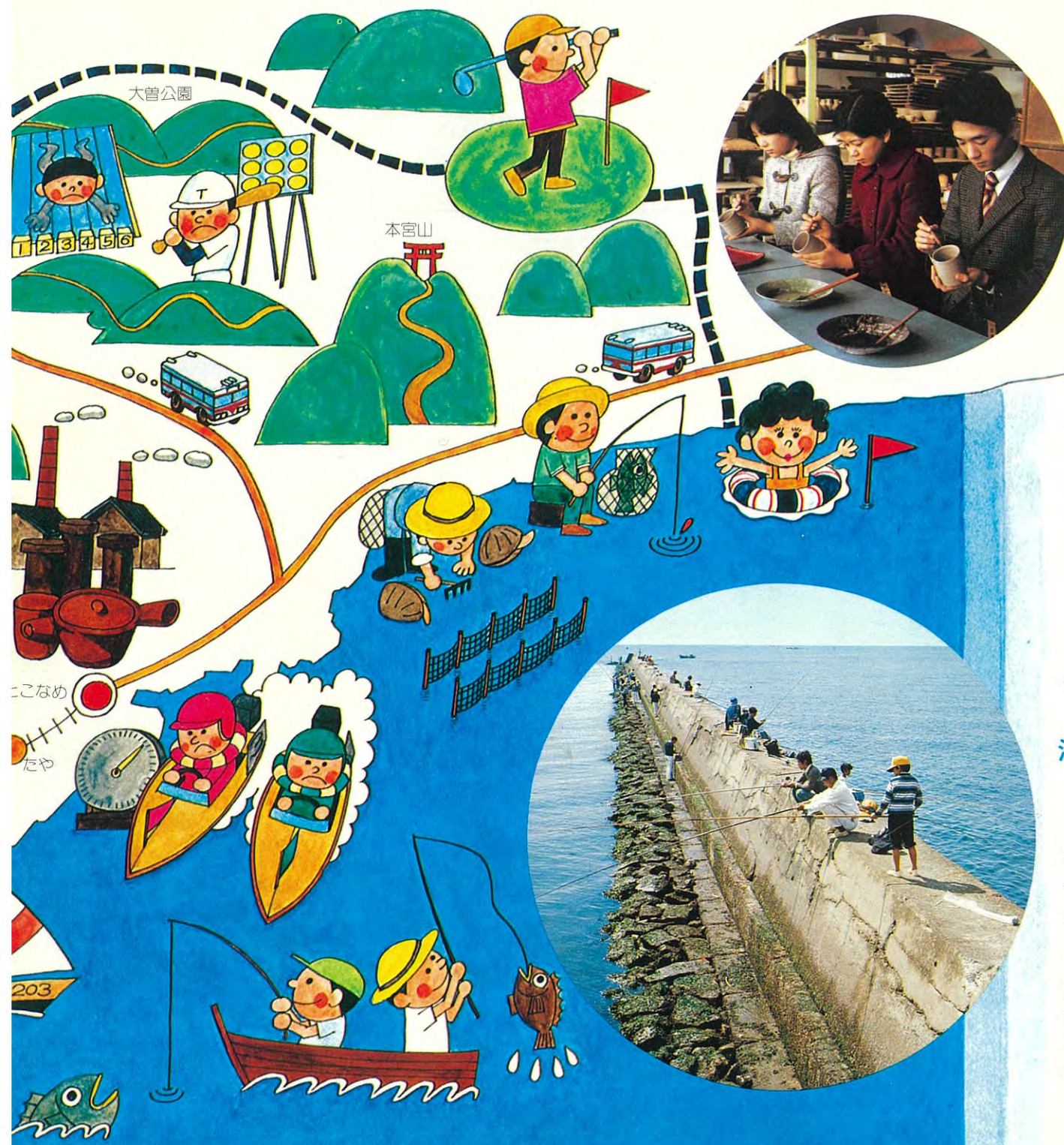


大野・坂井海水浴場

市内には大野海岸と坂井海岸に海水浴場がある。このほか砂丘のある鬼崎地区の海岸一帯も海のレジャーを楽しむ人で賑わう。ことに家族連れで賑わう大野海水浴場は潮湯治といわれ、古来親しまれた海水浴場として世界最古といわれている。

名古屋中心部から40分の近距離にあり、波静かな伊勢湾に近代的施設を完備し、家族ぐるみのレジャーに快適な県内有数の海水浴場である。遠浅の坂井海岸は春の潮干狩りに夏は海水浴、海釣りで賑わう。





絵付け

だれでも、いつでも、きがるに焼き物にしたしむ絵付け。書、画座右銘などのオーソドックスからサイケ調までいろいろ。

絵付けの良さはたのしみながら陶芸に接し、特色ある地域芸術の理解と認識を深めることにある。

市立陶芸研究所の工房は一般にも解放され焼き物の研究とレクリエーションを兼ねて絵付けに訪れる人は絶えない。



海釣り

伊勢湾に臨む海岸線一帯は沖釣り、磯釣りが盛ん。沖釣りは常滑鬼崎および大野から釣り船がでてキス、コチ、マダカ、タコ、フグズイ、カニなどがよく釣れる。

春から秋にかけて釣り大会も盛んに開かれる。磯釣りは海岸一帯の防波堤で、アイナメ、キス、チンタなどが釣れ、一日中太公望を味わう人も多い。



本宮山

知多半島第2の高地で、伊勢湾および三河湾を一望におさめ、眺望雄大なこの山は、ハイキング、キャンプ地として最適である。山頂は本宮を祀り、毎月1日が参詣日である。

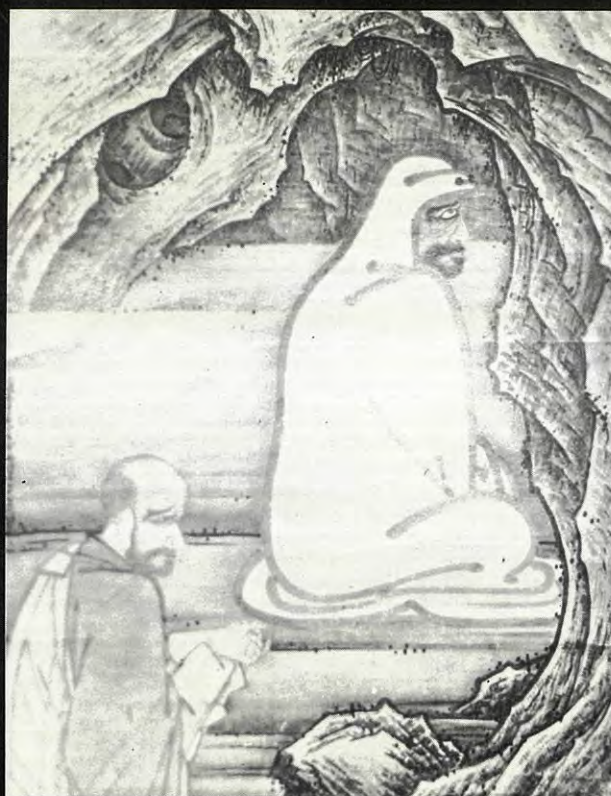
齐年寺雪舟慧可断臂図

国指定重要文化財

禅宗の開祖ダルマに、のちに第2祖となった慧可（えか）が弟子入りをこうたのを描いたもので雪舟77才の作品である。

古窯跡

今から900年前、平安末期から鎌倉、室町末期にかけて市内丘陵部一帯に3000をこえる窯がぎざかれ、世界にも類例のない壮観さを呈していたものと推定される。これらの窯は山腹の砂層に穴を掘って、そのまま窯にした「穴窯」で附近の雑木を燃料にして焼かれたようである。特に市内東北部簗池地内の古窯跡は県文化財となっている。



市内の国・県指定文化財

○国指定文化財

紙本淡彩恵司断臂図 1幅（大野町齐年寺蔵）

○県指定文化財

高久隆古作品群18面（保正正住院蔵）

木造阿弥陀如来立像 1軀（西阿野高讃寺蔵）

木造聖観音菩薩立像 1軀（西阿野高讃寺蔵）

木造仁王像 2軀（西阿野高讃寺蔵）

簗池古窯 1基（久米字簗池）

多賀神社の社叢（苅屋字洞ノ脇）

大野城趾

大野駅から東南へ2キロ、西ノ口駅から東へ1キロ、大野佐治時代にわたる城趾であり本市北部と伊勢湾を一望におさめる、眺望佳麗の地、隣接は青海団地が造られ山容は一変して明るく拓かれた。

高讃寺・仁王像

高讃寺は天武天皇勅願の霊場といわれ、往古300の坊宇があったが、数度の兵火で焼失し、現在は残りの一字のみであるが、境内の仁王門と周囲をおおう松、桜、楓が茂り寺蹟をしのばせる。仁王門にある仁王像2軀は鎌倉時代の作、このほか木造の阿弥陀如来立像聖観音菩薩立像があり、いずれも県文化財の指定を受けている。

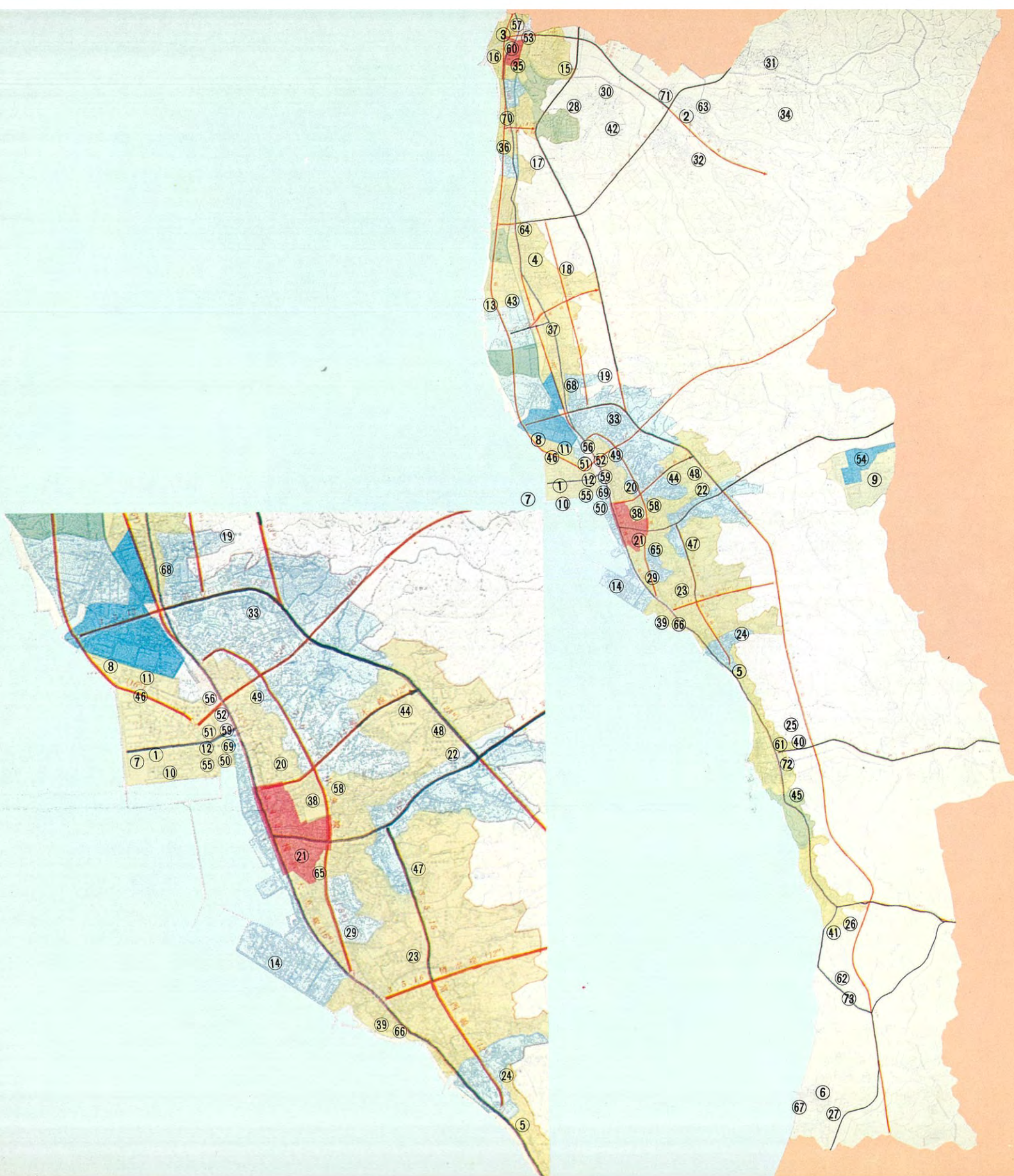
祭礼

市内の祭礼は春祭りとして4月中旬に一斉に行なわれる。この日は山車、催しものと地区ごとに多彩を競い、全市を祭り気分でわきたせる。



市内指定文化財

種別 指定別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	古文書	考古資料	史跡	天然記念物	民俗資料	無形文化財	(計)
国指定重要文化財		1									1
県指定文化財		1	3				1	1			6
市指定文化財	1	4	7	68	1	3	6	4	5	10	109
計	1	6	10	68	1	3	7	5	5	10	116



市内官公署一覧

電話市外局番 常滑<05693> 尾張大野<05694>

	名 称	所 在 地	電 話	有 線
①	常 滑 市 役 所	字鯉江新開476	代(5)5111	21-111
②	三 和 出 張 所	久米字東前田46	大(2)0142	21-331
③	大 野 出 張 所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0001	21-341
④	鬼 崎 出 張 所	榎戸字浜田93の2	大(2)0475	21-351
⑤	西 浦 出 張 所	熊野字南馬場32	(5)2369	21-361
⑥	小 鈴 谷 出 張 所	坂井字中田12	(7)0004	21-371
⑦	常 滑 市 教 育 委 員 会	字鯉江新開476	代(5)5111	21-291
⑧	常 滑 市 民 病 院	字鯉江新開1の1	代(5)3170	21-381
⑨	大 曾 公 園 管 理 事 務 所	字大曾20	(5)2797	55-163
⑩	競 艇 事 業 部	字鯉江新開475	代(5)5211	21-411
⑪	常 滑 市 民 体 育 会 館	字鯉江新開14の83	(5)4611	21-441
⑫	常 滑 市 消 防 署	字鯉江新開46	(5)2600	119
⑬	学 校 給 食 北 共 同 調 理 場	榎戸字新田山43の1	大(2)0773	43-447
⑭	学 校 給 食 南 共 同 調 理 場	字保示400	(5)4001	59-134
⑮	常 滑 市 立 三 和 西 保 育 園	金山字郷前7	大(2)0769	29-337
⑯	常 滑 市 立 大 野 保 育 園	大野町字十砂54	大(2)1400	31-685
⑰	常 滑 市 立 鬼 崎 北 保 育 園	西ノ口字植畑97	大(2)0612	42-635
⑱	常 滑 市 立 鬼 崎 中 保 育 園	榎戸字金荒子182	大(2)0772	43-335
⑲	常 滑 市 立 鬼 崎 南 保 育 園	多屋字森後39	(5)2877	45-667
⑳	常 滑 市 立 常 滑 北 保 育 園	字北屋敷8	(5)2437	53-694
㉑	常 滑 市 立 常 滑 南 保 育 園	字市場93	(5)2723	57-283
㉒	常 滑 市 立 常 石 保 育 園	字樋掛43	(5)4823	55-324
㉓	常 滑 市 立 西 浦 北 保 育 園	樽水字平井147	(5)3147	61-737
㉔	常 滑 市 立 西 浦 中 保 育 園	西阿野字唐崎85	(5)3152	63-237
㉕	常 滑 市 立 西 浦 南 保 育 園	古場字廻間55	(5)4100	65-432
㉖	常 滑 市 立 小 鈴 谷 北 保 育 園	大谷字井戸尻13	(7)0164	71-115
㉗	常 滑 市 立 小 鈴 谷 南 保 育 園	坂井字中山25	(7)0055	74-388
㉘	常 滑 市 立 青 海 保 育 園	金山字油手2		
㉙	常 滑 市 立 丸 山 保 育 園	字西平井13の1		
㉚	養 護 老 人 ホ ー ム	金山字屋敷30	大(2)0771	27-135
㉛	常 滑 市 立 三 和 東 幼 稚 園	矢田字東根組37	大(2)0143	24-597
㉜	常 滑 市 立 三 和 南 幼 稚 園	金山字平井120	大(2)0774	26-361
㉝	常 滑 市 立 常 滑 幼 稚 園	字原松45	(5)2124	51-583
㉞	常 滑 市 立 三 和 小 学 校	久米字諏訪山30	大(2)0749	25-348
㉟	常 滑 市 立 大 野 小 学 校	大野町字砂鋸市120	大(2)1011	31-721
㊱	常 滑 市 立 鬼 崎 北 小 学 校	西ノ口字上げ61	大(2)0222	41-667
㊲	常 滑 市 立 鬼 崎 南 小 学 校	多屋字名残82	(5)2422	45-972

	名 称	所 在 地	電 話	有 線
㊳	常 滑 市 立 常 滑 小 学 校	字屋敷田3	(5)2104	21-451
㊴	常 滑 市 立 西 浦 北 小 学 校	樽水字塩田75	(5)2164	61-164
㊵	常 滑 市 立 西 浦 南 小 学 校	古場字栗下前5	(5)4002	65-431
㊶	常 滑 市 立 小 鈴 谷 小 学 校	大谷字井戸尻2の2	(7)0021	71-116
㊷	常 滑 市 立 青 海 中 学 校	金山字南平井13の1	大(2)0331	28-252
㊸	常 滑 市 立 鬼 崎 中 学 校	榎戸字新田山1	大(2)0221	43-436
㊹	常 滑 市 立 常 滑 中 学 校	字土取畑10	(5)2375	21-461
㊺	常 滑 市 立 南 陵 中 学 校	菊屋字加茂10	(5)4005	67-515
㊻	常 滑 市 立 図 書 館	字鯉江新開19-47	(5)2217	54-396
㊼	県 立 常 滑 高 等 学 校	字徳磯49の3	(5)2132	55-491
㊽	常 滑 市 立 陶 芸 研 究 所	字樋掛45	(5)3970	54-151
㊾	常 滑 市 陶 磁 器 会 館	字師ヶ谷25の1	(5)2033	53-652
㊿	常 滑 市 商 工 会 館	字鯉江新開561	(4)3200	52-418
1	常 滑 市 交 通 安 全 セ ン タ ー	字鯉江新開483	(5)5384	
2	名 古 屋 法 務 局 常 滑 出 張 所	字中郷93の53	(5)2581	52-256
3	愛 知 食 糧 事 務 所 知 多 支 所 常 滑 出 張 所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0206	21-343
4	愛 知 県 常 滑 窯 業 技 術 セ ン タ ー	字三ッ池48の88	(5)5151	55-183
5	愛 知 県 半 田 土 木 事 務 所 常 滑 分 所	字鯉江新開474	(5)2045	52-416
6	愛 知 県 知 多 保 健 所 常 滑 支 所	字鯉江新開57	(5)2537	52-246
7	愛 知 県 常 滑 農 業 改 良 普 及 所	大野町字十市鍛76の1	大(2)0001	21-342
8	常 滑 電 報 電 話 局	字屋敷田46の1	(5)4245	
9	常 滑 郵 便 局	字中郷107	(5)2453	52-275
10	尾 張 大 野 郵 便 局	大野町字十市鍛31	大(2)0660	31-626
11	尾 張 西 浦 郵 便 局	古場字柳67の5	(5)4257	
12	小 鈴 谷 郵 便 局	小鈴谷字梶田73の1	(7)0042	72-361
13	尾 張 三 和 郵 便 局	久米字東郷5の1	大(2)1908	
14	鬼 崎 郵 便 局	榎戸字新町南6163	大(2)1909	
15	山 方 郵 便 局	字山方118の1	(5)4258	
16	樽 水 郵 便 局	樽水字鳥山4の6	(5)4259	
17	坂 井 郵 便 局	坂井字浜田6の3	(7)0045	
18	多 屋 郵 便 局	多屋字後条131-6	(5)4810	
19	愛 知 県 常 滑 警 察 署	字鯉江新開559	(5)2410	110
20	愛 知 県 常 滑 警 察 署 西 ノ 口 派 出 所	西ノ口字郷中1の3	大(2)0248	41-544
21	愛 知 県 常 滑 警 察 署 久 米 駐 在 所	久米字西前田40-3	大(2)0742	25-114
22	愛 知 県 常 滑 警 察 署 古 場 駐 在 所	古場字柳67の7	(5)4008	65-383
23	愛 知 県 常 滑 警 察 署 小 鈴 谷 駐 在 所	小鈴谷字梶田25の2	(7)0019	72-327

常滑音頭

樋貝正幸 作詞
清水保雄 作曲



常滑小唄

樋原言賢 作詞
清水保雄 作曲

Slowly



常滑小唄

作詞 樋原言賢
作曲 清水保雄
振付 島田豊年

一、陶都千年・繁昌のけむり

西へ東へ 日も夜もなびく
八重の汐路の かぎりまで

三、のりの色香に たもとをひかれ

浸たる湯けむり 大谷坂井
小夜のしおさい 夢のなか

五、知多の木綿に 肌さえ匂う

粹なゆかたの あの娘の酌で
地酒よいよい とんとろり

七、海のキャンブル ころもはずむ

うなるエンジン 風呼ぶレース
かける幸運 波の花

八、伸びる常滑 栄える街よ

五色モザイク 七色タイル
世界いろどる ころろ意気

六、遠くかすむは 鈴鹿か伊勢か

君のヨットは 鬼崎あたり
楽し沖釣 なぎ日利

四、海はるり色 大野の浜辺

波は手招く しぶきにぬれて
可愛い人魚の みだれ髪

二、わたしや常滑 窯場の娘

想いつのれば 千度をこえる
熱い災の 恋もする

常滑音頭

作詞 樋貝正幸
作曲 清水保雄
振付 島田豊年

一、陶都常滑港に街に

積んだ焼物大山小山
産業繁昌と木綿の織機も

三、木曾のたにみず黄金の穂波

おさのひびきで一囀し
ホイサ手拍子 トントン拍子
トント常滑よい調子

二、誰と大野が小鈴谷かけて

浜は七色水着の花を
ボートレースのしぶきが呼べば
すべるヨットの帆も招く

四、浮ぶ灯台潮路を照らす

明日をさす手は踊りの手振り
ゆめも大きく伊勢湾抱いて
知多の要の伊達姿

三、木曾のたにみず黄金の穂波

おさのひびきで一囀し
ホイサ手拍子 トントン拍子
トント常滑よい調子

四、浮ぶ灯台潮路を照らす

明日をさす手は踊りの手振り
ゆめも大きく伊勢湾抱いて
知多の要の伊達姿

昭和49年4月1日発行

市制20周年記念

常滑市勢要覧

発行 常滑市役所

住所 愛知県常滑市字鯉江新開476

編集 企画課

印刷 合資会社誠進社

